

14. 21-801



1-21

01



始



14.  
801

昭和十二年度業務概要

北海道農事試験場



本篇には北海道農事試験場本、支場、特定試験地、試作場、和寒  
 除蟲菊試験地、原種圃、採種圃、養成圃、採種圃監督、原蠶種製造、模  
 範果樹園、農林省指定水稻新品種育成試験竝に同小麥育種地  
 方試験に於ける昭和十二年四月より同十三年三月に至る業  
 務の概要を登載す

昭和十四年三月

北海道農事試験場



14.2  
801

北海道農事試験場（本場）

昭和十二年度北海道農事試験場業務概要

目次

第一 試験及調査……………一

一 種藝に關する試験及調査……………一

二 甜菜に關する試験及調査……………八

三 園藝に關する試験及調査……………二

四 土性、施肥標準及土地改良に關する試験及調査……………四

五 土壤肥料に關する試験及調査……………七

六 病理に關する試験及調査……………二

七 昆蟲に關する試験及調査……………三

八 農具に關する試験及調査……………七

九 蠶桑に關する試験及調査……………七

一〇 農産加工に關する試験及調査……………七

一一 畜産に關する試験及調査……………六

一二 農業經營に關する試験及調査……………三

第二 普及事業……………一



Vertical text on the right page, likely a preface or introduction, mentioning the year 1927 (昭和十二年) and the Hokkaido Agricultural Experiment Station.



一	農事教習生の養成	三
二	印刷物の刊行及配付	三
三	見本	三
四	種苗配付	三
五	農事指導	三
六	質疑應答	三
七	依頼分析	三
八	種苗の鑑定	三
九	參觀人	三
第三	其他	三
一	出	張
二	文書の發送及接受	三
三	畜産部試験圃の造成	三
四	畜産部建物の建設	三

美唄泥炭地試験地

第一	試験及調査	三
一	種藝に関する試験及調査	三
二	飼料作物に関する試験及調査	三
三	土地改良に関する試験及調査	三
四	土壤肥料に関する試験及調査	三

五	病害蟲に関する試験及調査	三
六	農業經營に関する試験及調査	三
第二	普及事業	三
一	見本	作
二	農事指導	三
三	質疑應答	三
四	參觀人	三
第三	其他	三
一	出	張
二	文書の發送及接受	三
三	用地の整理	三

早來火山灰地試験地

第一	試験及調査	三
一	種藝に関する試験及調査	三
二	甜菜に関する試験及調査	三
三	飼料作物に関する試験及調査	三
四	園藝に関する試験及調査	三
五	土壤肥料に関する試験及調査	三
六	病害蟲に関する試験及調査	三
七	煙草に関する試験及調査	三

八 農業經營に關する試験及調査..... 五

第二 普及事業

一 見本作..... 五

二 種苗配付..... 六

三 農事指導..... 六

四 質疑應答..... 六

五 參觀人..... 六

第三 其他

一 出張..... 六

二 文書の發送及接受..... 六

上川支場

第一 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査..... 七

二 土壤肥料に關する試験及調査..... 七

三 病害蟲に關する試験及調査..... 七

四 農業經營に關する試験及調査..... 七

第二 普及事業

一 見本作..... 七

二 種苗配付..... 七

三 農事指導..... 七

四 質疑應答..... 七

第三 其他

一 出張..... 七

二 文書の發送及接受..... 七

三 用地の整理..... 七

十 勝支場

第一 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査..... 七

二 甜菜に關する試験及調査..... 七

三 飼料作物に關する試験及調査..... 七

四 土壤肥料に關する試験及調査..... 七

五 病害蟲に關する試験及調査..... 七

六 農業經營に關する試験及調査..... 七

第二 普及事業

一 種苗配付..... 八

二 農事指導..... 八

三 質疑應答..... 八

四 參觀人..... 八

第三 其他

一 出	張	.....	三
二 文書の發送及接受	.....	.....	三

幸震高丘地試験地

第一 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査	.....	.....	八五
二 甜菜に關する試験及調査	.....	.....	八六
三 飼料作物に關する試験及調査	.....	.....	八七
四 土壤肥料に關する試験及調査	.....	.....	八八
五 十勝高丘地地力増進に關する試験及調査	.....	.....	九〇
六 病害蟲に關する試験及調査	.....	.....	九〇
七 農業經營に關する試験及調査	.....	.....	九一

第二 普及事業

一 見本 作	.....	.....	九二
二 農事 指導	.....	.....	九三
三 質疑 應答	.....	.....	九三
四 參觀 人	.....	.....	九三

第三 其の他

一 出	張	.....	九三
二 文書の發送及接受	.....	.....	九三

北見支場

第一 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査	.....	.....	九五
二 甜菜に關する試験及調査	.....	.....	九六
三 飼料作物に關する試験及調査	.....	.....	九六
四 土壤肥料に關する試験及調査	.....	.....	九六
五 病害蟲に關する試験及調査	.....	.....	九六
六 農業經營に關する試験及調査	.....	.....	九六

第二 普及事業

一 見本 作	.....	.....	九三
二 種苗 配付	.....	.....	九三
三 農事 指導	.....	.....	九三
四 質疑 應答	.....	.....	九三
五 參觀 人	.....	.....	九三

第三 其の他

一 出	張	.....	九四
二 文書の發送及接受	.....	.....	九四

渡島支場

第一 試験及調査

一 種藝に關する試験及調査	.....	.....	九五
二 甜菜に關する試験及調査	.....	.....	九五

三	飼料作物に關する試験及調査	105
四	園藝に關する試験及調査	107
五	土壤肥料に關する試験及調査	108
六	病害蟲に關する試験及調査	111
七	農業經營に關する試験及調査	113
第二 普及事業		113
一	見本作	113
二	種苗配付	113
三	農事指導	113
四	質疑應答	113
五	參觀人	113
第三 其他		114
一	出張	114
二	文書の發送及接受	114
三	用地の整理	114
根室支場		
第一 試験及調査		115
一	種藝に關する試験及調査	115
二	甜菜に關する試験及調査	116
三	飼料作物に關する試験及調査	117

四	土地改良に關する試験及調査	119
五	土壤肥料に關する試験及調査	119
六	病害蟲に關する試験及調査	121
七	農産加工に關する試験及調査	121
八	農業經營に關する試験及調査	121
第二 普及事業		121
一	見本作	121
二	種苗配付	121
三	農事指導	121
四	質疑應答	121
五	參觀人	121
第三 其他		121
一	出張	121
二	文書の發送及接受	121
檜山試作場		
第一 模範作		127
第二 試験及調査		127
一	種藝に關する試験及調査	127
二	飼料作物に關する試験及調査	127
三	土壤肥料に關する試験及調査	127



四 病害蟲に關する試験及調査.....130

第三 普及事業.....131

一 見本作.....131

二 種苗配付.....131

三 農事指導.....131

四 質疑應答.....131

五 參觀人.....131

第四 其他.....131

一 出張.....131

二 文書の發送及接受.....131

三 用地の整理.....131

俱知安試作場

第一 模範作.....131

第二 試験及調査.....131

一 種藝に關する試験及調査.....131

二 甜菜に關する試験及調査.....131

三 飼料作物に關する試験及調査.....131

四 土壤肥料に關する試験及調査.....131

五 病害蟲に關する試験及調査.....131

第三 普及事業.....131

釧路試作場

第一 模範經營.....140

第二 試験及調査.....140

一 種藝に關する試験及調査.....140

二 飼料作物に關する試験及調査.....140

三 土地改良に關する試験及調査.....140

四 土壤肥料に關する試験及調査.....140

五 病害蟲に關する試験及調査.....140

第三 普及事業.....140

一 見本作.....140

二 種苗配付.....140

第四 其他.....140

一 出張.....140

二 文書の發送及接受.....140

三 用地の整理.....140

- 三 農事指導.....一四九
- 四 質疑 應答.....一四九
- 五 參觀 觀 人.....一五〇
- 第四 其 他.....一五〇
  - 一 出.....張.....一五〇
  - 二 文書の發送及接受.....一五〇
  - 三 用地の整理.....一五〇

美深試作場

- 第一 模範 作.....一五一
- 第二 試驗及調査.....一五一
  - 一 種藝に關する試驗及調査.....一五一
  - 二 甜菜に關する試驗及調査.....一五二
  - 三 飼料作物に關する試驗及調査.....一五二
  - 四 土地改良に關する試驗及調査.....一五二
  - 五 土壤肥料に關する試驗及調査.....一五二
  - 六 病害蟲に關する試驗及調査.....一五二
- 第三 普及事業.....一五九
  - 一 見 本 作.....一五九
  - 二 種 苗 配 付.....一五九
  - 三 農事指導.....一六〇

- 四 質疑 應答.....一六〇
- 五 參 觀 人.....一六〇
- 第四 其 他.....一六〇
  - 一 出.....張.....一六〇
  - 二 文書の發送及接受.....一六〇
  - 三 用地の整理、其 他.....一六〇

天鹽試作場

- 第一 模範經營.....一六一
- 第二 試驗及調査.....一六一
  - 一 種藝に關する試驗及調査.....一六一
  - 二 甜菜に關する試驗及調査.....一六一
  - 三 飼料作物に關する試驗及調査.....一六一
  - 四 土壤肥料に關する試驗及調査.....一六一
  - 五 病害蟲に關する試驗及調査.....一六一
- 第三 普及事業.....一六六
  - 一 見 本 作.....一六六
  - 二 種 苗 配 付.....一六六
  - 三 農事指導.....一六六
  - 四 質疑 應答.....一六七
  - 五 土壤酸度の檢定.....一六七

六 參觀人

第四 其他

- 一 出 張
- 二 文書の發送及接受
- 三 用地の整理

潮棚試作場

第一 模範經營

第二 試驗及調査

- 一 種藝に關する試験及調査
- 二 甜菜に關する試験及調査
- 三 飼料作物に關する試験及調査
- 四 土壤肥料に關する試験及調査
- 五 病害蟲に關する試験及調査

第三 普及事業

- 一 見 本 作
- 二 種 苗 配 付
- 三 農 事 指 導
- 四 質 疑 應 答
- 五 參 觀 人

第四 其他

一七〇  
一七一  
一七二  
一七三  
一七四  
一七五  
一七六  
一七七  
一七八  
一七九  
一八〇  
一八一  
一八二  
一八三  
一八四  
一八五  
一八六  
一八七  
一八八  
一八九  
一九〇  
一九一  
一九二  
一九三  
一九四  
一九五

日高試作場

第一 模範經營

第二 試驗及調査

- 一 種藝に關する試験及調査
- 二 甜菜に關する試験及調査
- 三 飼料作物に關する試験及調査
- 四 土壤肥料に關する試験及調査
- 五 病害蟲に關する試験及調査

第三 普及事業

- 一 見 本 作
- 二 種 苗 配 付
- 三 農 事 指 導
- 四 質 疑 應 答
- 五 參 觀 人

第四 其他

- 一 出 張
- 二 文書の發送及接受

一九六  
一九七  
一九八  
一九九  
二〇〇  
二〇一  
二〇二  
二〇三  
二〇四  
二〇五  
二〇六  
二〇七  
二〇八  
二〇九  
二一〇  
二一一  
二一二  
二一三  
二一四  
二一五  
二一六  
二一七  
二一八  
二一九  
二二〇  
二二一  
二二二  
二二三  
二二四  
二二五

三 用地の整理..... 一六

稚内試作場

第一 模範經營..... 一八

第二 試験及調査..... 一八

一 種薯に關する試験及調査..... 一九

二 甜菜に關する試験及調査..... 一九

三 飼料作物に關する試験及調査..... 一九

四 土地改良に關する試験及調査..... 一九

五 土壤肥料に關する試験及調査..... 一九

六 病害蟲に關する試験及調査..... 一九

第三 普及事業..... 一九

一 見本作..... 一九

二 種苗配付..... 一九

三 農事指導..... 一九

四 質疑應答..... 一九

五 參觀人..... 一九

第四 其の他..... 一九

一 出張..... 一九

二 文書の發送及接受..... 一九

三 用地の整理..... 一九

美瑛試作場

第一 模範經營..... 一七

第二 試験及調査..... 一七

一 種薯に關する試験及調査..... 一七

二 甜菜に關する試験及調査..... 一七

三 飼料作物に關する試験及調査..... 一七

四 土壤肥料に關する試験及調査..... 一七

五 病害蟲に關する試験及調査..... 一七

第三 普及事業..... 一七

一 見本作..... 一七

二 種苗配付..... 一七

三 農事指導..... 一七

四 質疑應答..... 一七

五 參觀人..... 一七

第四 其の他..... 一七

一 出張..... 一七

二 文書の發送及接受..... 一七

三 用地の整理..... 一七

和寒除蟲菊試驗地

第一	試驗及調査	三〇五
一	種藝に關する試験及調査	三〇五
二	土壤肥料に關する試験及調査	三〇七
三	病害蟲に關する試験及調査	三〇八
第二	普及事業	三〇八
一	質疑應答	三〇八
二	參觀人	三〇九
第三	其の他	三〇九
一	出張	三〇九
二	文書の發送及接受	三〇九
三	用地の整理	三〇〇
原種園		
一	米原種園	三一一
二	小麦原種園	三一一
三	麥原種園	三一一
四	雜穀原種園	三一一
五	蕎麥原種園	三一一
六	重要作物原種園	三一一

採種園

一	菜種採種園	三三五
二	綠肥採種園	三三五

養成園

一	自家用果樹苗木養成園	三三六
---	------------	-----

採種園監督

		三三七
--	--	-----

原蠶種製造

		三三八
--	--	-----

模範果樹園

		三三九
--	--	-----

農林省指定水稻新品種育成試驗

		三三〇
--	--	-----

農林省指定小麥育種地方試驗

		三三一
--	--	-----

一本場		三三二
二北見支場		三三三

昭和十二年度業務概要

北海道農事試験場

(本場)

第一 試験及調査

種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し



試験及調査の種類	種類	数	区	数	面	積
豊凶考照試験		一五		二四		二、三〇一
品種改良に関する試験及調査		二八		一、四一一		二四、九四八
耕種に関する試験及調査		三六		七四〇		一〇、三二六
其の他の試験及調査		一四		四一三		(ポット使用)
委託試験		八		四六一		五八、一八五
計		一〇一		三、〇四九		九五、七六〇

本試験は、普通作物、特用作物の各種に就き品種の選擇並に育成、耕種肥培、品質等に關する試験及調査、其の他作物に關する基礎的調査を行ふを目的とす。今、作物生育期間の氣候を概括するに、融雪後の氣候は概して順調にして、五月中旬以降稍低溫寡照に經過せしも、六月中旬に入り恢復し次第に高溫多照となれり。七月に入り氣溫急激に上昇し、八月中旬に至る迄近年稀に見る高溫を持続し、爾後十月下旬に至る間は九月上、中旬及十月上、中旬に於て稍低溫を持続せる外概ね順調に經過せり。降水量は四月中旬より六月下旬に至る間は一般に少なく、特に六月中、下旬は著しく寡少にして天候乾燥に失せり。然るに七月に入りて降雨多く、殊に同月中旬著しく多量を示し、同月下旬以降は少なかりしも、九月中旬に至り豪雨ありて平年に比し著しく多く、爾後は一般に少なきを示せり。

天候前記の如かりしを以て各種作物の播種は概して順調に行はれ、發芽亦良整なりしも、六月中、下旬に至り旱害を被り七月に入りて著しく多雨なりし爲夏收作物、殊に麥類は生育並に登熟を阻害せられ、減收と共に品質の低下を示し、秋收作物にありても多少の影響を認めらるるものありしも、之を各種試験及調査に就きて見るに孰れも概して信憑すべき成績を擧げ得たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種）
- 二 品種試験（水稻、大麥、燕麥、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、菊芋、亞麻、秋播菜種、春播菜種）
- 三 新品種育成試験（陸稻、大麥、裸麥、菜豆、豌豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種）
- 四 水稻の苗代に關する試験及調査
  - イ 溫床苗代に於ける灌水と苗の生育との關係調査
  - ロ 溫床苗代に於ける床土の土性に關する試験
  - ハ 溫床苗代に於ける床土の肥料に關する試験
  - ニ 溫床苗代に於ける覆土と苗の生育との關係試験

- ホ 溫床苗代に於ける障子管理法に關する試験
- ヘ 溫床苗代に於ける床土殺菌に關する試験
- ト 溫床苗代に於ける稚苗の發芽促進に關する試験
- チ 溫床、冷床苗代に於ける二番苗に關する調査
- 五 水稻の本田に於ける試験及調査
  - イ 生育と土性との關係試験
  - ロ 苗仕立法に關する試験
  - ハ 品種對直播播種期試験
  - ニ 溫床、冷床播種期對移植期試験
  - ホ 溫床栽培に於ける栽植密度試験
  - ヘ 府縣育苗に關する調査
  - ト 溫床栽培によりて採種せる種子の後作用に關する調査
- 六 播種期に關する試験及調査（陸稻、蕎麥、川芎）
- 七 畦幅、株間の距離に關する試験（間作大豆、菊芋）
- 八 陸稻品種對播種量試験
- 九 秋播菜種立毛密度對施肥用量試験
- 一〇 苧麻繁殖法に關する調査
- 一一 川芎種球の大小に關する調査
- 一二 蕘麻移植、直播比較調査
- 一三 纈草摘穗調査
- 一四 陸稻培土時期試験

- 一五 忽布短梢仕立に關する調査
- 一六 收穫期試驗(小豆、秋播菜種)
- 一七 豌豆秋播に關する試驗及調査
- 一八 適否試驗(高粱、荏、芥子、藥用罌粟)
- 一九 冷害に關する試驗及調査(水稻、陸稻、菜豆)
- 二〇 超短電波利用に關する調査(水稻、大麥、春播小麥、秋播ライ麥、燕麥、稗、蕎麥、小豆、菜豆、亞麻、秋播菜種)
- 二一 水稻新優良品種の理化學的特性に關する調査
- 二三 委託試驗

イ 基礎試驗

- 一 水稻晚熟新品種適否試驗(前田村、伊達町)
- 二 水稻溫床栽培用品種適否試驗(伊達町、厚澤部村、大野村)
- 三 菜豆大福品種選拔試驗(蛇田村、喜茂別村)
- 四 亞麻品種比較試驗(留壽都村、幕別村)

ロ 應用試驗

- 一 水稻新品種適否試驗 早熟種(熱郭村、狩太村、鷓川村、右左府村、様似村、新得町、鹿追村、豐頃村、留邊  
藥町、美幌町、瀧ノ上村、天鹽町、遠別村、羽幌町、小平藥村、芦別村、秩父別村、新十津川村、音江村、月形  
村、北龍村、多度志村、幌加内村、沼田村、赤平村、雨龍村、上川村、東川村、應栖村、江丹別村、士別町、上  
士別村、劍淵村、下川村、名寄町、風連村、美深町、山部村、美瑛村)
- 中熟種(上磯町、木古内村、知内村、福島村、七飯村、厚澤部村、上ノ國村、泊村、東瀨棚村、太櫓村、前田村  
大江村、小澤村、南尻別村、熱郭村、狩太村、惠庭村、當別村、厚田村、伊達町、厚真村、門別村、三石村、角  
田村、栗澤村、砂川町、幌向村、岩見澤町、芦別村、秩父別村、新十津川村、月形村、音江村、北龍村、雨龍村)

- 赤平村、羽幌町、苫前村、小平藥村、端野村、下湧別村、永山村、東應栖村、神樂村、東旭川村、神居村、當麻  
村、比布村、愛別村、上富良野村、中富良野村、富良野町)
- 二 陸稻新品種適否試驗(木古内村、知内村、落部村、太櫓村、瀨棚町、黒松内村、喜茂別村、赤井川村、惠庭村  
新篠津村、栗澤村、芦別村、音江村、豊浦村、洞爺村、徳舜別村、平取村、右左府村、端野村、下渚滑村、女滿  
別村)

三 砂土地水田に於ける水稻品種試驗(水稻村)

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 水稻新優良品種の理化學的特性に關する調査  
水稻新優良品種「富國」、「早生富國」、「北光」及「南光」の四品種を従来の優良品種「走坊主二號」、「坊主二號」、「坊主  
六號」及「津輕坊主一號」の四品種並に府縣産品種「中生愛國」、「陸羽一三三二號」及「龜の尾」の三品種と理化學的特性を  
比較したるに、新優良品種は玄米の一般的形質、精白歩合及化學的性質に於て従来の優良品種に比し著しく改善せられ、府  
縣産品種に匹敵又は類似せる特性を有するを認めたり。

二 水稻村砂土地水田に於ける水稻品種試驗

札幌郡水稻村宇山口の砂土地水田に於て水稻品種委託試驗を行ひたるに、梗種一三品種中「富國」は收量、品質共に優り  
且出穂、成熟期も適當にして最も恰適し、糯種三品種中「改良糯一號」及「山崎糯」は伯仲して良好なるを認めたり。

三 陸稻新品種育成試験

昭和二年陸稻「陸羽二九號」を母とし、水稻「走坊主」を父として人工交配を行ひ育成せるもの内「本育三二八號」及  
「本育三二九號」は本道の氣候に適し收量亦相當多きを示し、且各場及地方町村に於ける委託試験の成績も概して良好なる  
を以て新に右二系統を優良品種に決定し、前者は「北海早生」と命名して本道中央部を主とし、後者は「北海赤毛」と命名  
して南部地方及中央部平坦地方を主とし、普及獎勵を圖ることとせり。

四 馬鈴薯新品種育成試験



イ 昭和四年「レンブケ・フルーエ・ローゼン」を母とし「ペポー」を父として人工交配を行ひ、實生せるものより選抜せるもの内「本育三〇九號」は薯收量、澱粉收量共に優り、稍晩生の澱粉用品種として優るを認めたるを以て、新に優良品種に決定「紅丸」と命名し増殖普及を圖ることとせり。

ロ 昭和五年「男爵薯」を母とし「ペポー」を父として人工交配を行ひ實生せるものより選抜せるもの内「本育三九五號」は薯收量、耐病性共に優り、中生の食用品種として優るを認めたるを以て、新に優良品種に決定「北海白」と命名し増殖普及を圖ることとせり。

ハ 昭和五年「根室紫」を母とし「ペポー」を父として人工交配を行ひ實生せるものより選抜せるもの内「本育三九七號」は薯收量、澱粉收量、耐病性共に優り、晩生の食用兼澱粉用品種として優るを認めたるを以て、新に優良品種に決定「明星」と命名し増殖普及を圖ることとせり。

五 水稻温床苗代覆土に關する試験  
水稻の温床苗代に於ける覆土と苗の生育との關係を知らんが爲行ひたるに、覆土の深さは砂土（川砂）を用ふる場合は一種乃至二種、砂壤土を用ふる場合は一種程度を適當とするを認めたり。

六 水稻温床、冷床苗代播種期對移植に關する試験  
水稻の温床並に冷床苗代に於ける播種及移植の適期を知らんが爲行ひたるに、温床栽培の播種期は四月二十日より同月三十日頃迄の約一〇日間、移植期は五月二十日頃より同月三十日頃迄の約一〇日間を適期とし、苗代期間は三〇日内外を最も可とするを認めたり。冷床栽培の播種適期は温床栽培と略同様なるも、苗代日數は稍長く、早播せるものは三五日乃至四〇日、然らざる場合は三五日内外として、五月下旬乃至六月初めに移植するを適當と認めたり。

七 水稻温床、冷床苗代に於ける二番苗に關する調査  
温床又は冷床苗代の跡地を利用して直に二番苗を育成するときは、播種期、移植の方法等に宜しきを得れば相當の生育を遂げ得るを以て、普通苗代の苗立不良の場合に於ける應急處置、或は直播田及温床苗代田に於ける缺株の補植用として効果あるを認めたり。

八 小豆收穫期試験

小豆各品種の收穫適期は各品種共成熟期直前、即ち熟莢七〇%内外に達せるときに收穫するを最も適當と認めたり。

九 秋播菜種收穫期試験

秋播菜種の收穫適期は主莖、分枝に綠色を消失し、莢の大部分黃褐色を呈し、且大部分の穂先に褐色に變ぜる子實を認めたる時、即ち開花揃後五七日内外の時期なるを認めたり。

一〇 苧麻繁殖法に關する調査

吸枝繁殖によるものは株分繁殖に比し纖維收量並に纖維歩止優れるを以て、吸枝により繁殖するを適當と認めたり。

一一 川芎播種時期調査

川芎栽培に當り播種時期の早晚が收量並に品質に及ぼす影響を知らんが爲行ひたるに、五月上旬に播種せるもの收量最も優り、之より時期の早晚するに隨ひて收量遞減するを以て五月上旬に播種するを適當と認めたり。

一二 川芎種球の大小に關する調査

川芎栽培に當り種球の大小が收量並に品質に及ぼす影響如何を知らんが爲、大球（一箇平均重二九・五瓦内外）、中球（同重一二・〇瓦内外）及小球（同重三・〇瓦内外）に別け調査を行ひたるに、大球を用ひたるものは收量最多なるも、品質に於ては中球の稍優れるを認めたり。

一三 蓖麻の移植直播比較調査

蓖麻栽培に當り移植、直播對收量の關係如何を知らんが爲行ひたるに、直播せるものは收量、品質共に移植に比し優れるを認めたり。

一四 纈草摘穗調査

纈草栽培に當り摘穗の收量及品質に及ぼす影響を知らんが爲行ひたるに、摘穗を行ふときは收量増加するも、品質は摘穗せざるものと大差なきを認めたり。

## 二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面積	積
品種改良に関する試験及調査		二〇		一、〇四五		二七、九三四
耕種に関する試験及調査		六		八七		一、三二二
肥料に関する試験及調査		八		一八〇		四、二九八
その他の試験及調査		一		二〇五		六六二
委託試験		一		五七		一二、六九四
計		四〇		一、五七四		四六、九一〇

本試験は、本道に於ける甜菜糖業の發達に資せんが爲、優良品種の選擇並に育成、耕種肥培、病害蟲防除等に關し諸般の試験及調査をなすを目的とす。而して本年の天候は六月に入り寡雨多照なりしを以て、稚苗期に於て稍旱害を蒙り生育振はざりしも、爾後概して適順に經過し生育良好となれり。然るに九月に入り極めて多濕なりし爲葉の再生するものを生じたり。又夜盜蟲は六月下旬より九月中旬に互り發生を見、甜菜褐斑病は七月中旬より發生せしも、孰れも之が防除に努めたるを以て被害極めて輕微に止むるを得、各試験共概して信憑すべき成績を收め得たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験
- 二 品種豫備調査
- 三 耐病性系統比較試験

### イ 母根の選抜

#### ロ 選抜母根の採種

- 四 交配操作
- 五 耐病性雜種第一代個體養成
- 六 耐病性雜種第一代個體採種
- 七 耐病性雜種第二代個體選抜試験
- 八 耐病性雜種第二代個體採種
- 九 耐病性雜種第三代個體系統選抜試験
- 一〇 耐病性雜種第三代個體採種
- 一一 耐病性雜種第四代系統選抜試験
- 一二 耐病性雜種第四代個體採種
- 一三 耐病性雜種第五代系統選抜試験
- 一四 耐病性雜種第五代個體採種
- 一五 耐病性系統生産力檢定試験
- 一六 耐病性系統生産力檢定試験選抜母根の採種
- 一七 甜菜糖分増加と三條根に関する調査
- 一八 甜菜早熟種に関する調査
- 一九 甜菜と飼料用ビートとの雜交による遺傳現象に関する調査
- 二〇 ヘテロシスに関する調査
- 二一 甜菜生育領域に関する試験
- 二二 甜菜多收法調査

- 二三 甜菜採種多收法調査
  - 二四 赤クローバー跡地甜菜窒素適量試験
  - 二五 會社配給肥料反當標準用量確認試験
  - 二六 硫酸アンモニア及智利硝石配合試験
  - 二七 黄花ルービン跡地甜菜肥料配合試験
  - 二八 トーマス燐肥肥効調査
  - 二九 甜菜採種對加里用量試験
  - 三〇 甜菜連作試験
  - 三一 施肥の深さに關する試験
  - 三二 砂土層に關する試験
  - 三三 甜菜窒素供給時期試験
  - 三四 綠肥用黄花ルービン及赤クローバー肥效比較試験
  - 三五 甜菜根部貯藏試験
  - 三六 甜菜生育調査
  - 三七 甜菜種子の發芽年限に關する調査
  - 三八 甜菜種子の保存法に關する調査
  - 三九 有害性窒素に關する調査
  - 四〇 委託試験
- イ 地帯別甜菜品種試験（由仁村、清水町、富良野町、八雲町、留壽都村、幌延村、中頓別村、士別町、幕別村、小清水村、別海村、弟子屈村）

### 三 園藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一三六		七一		三、五四〇
耕種に關する試験及調査		一三五		四五		八、二七〇
超短電波利用試験		一〇		四〇		一〇〇
其他の試験及調査		三七		一四三		一、五〇〇
委託試験		三		七		三、〇〇〇
計		三七		三三六		一六、四一〇

本試験は、蔬菜及果樹に就き品種の選定並に育成、耕種肥培、貯藏等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の氣候は、五、六月の候稍不順にして低冷、乾燥交々至りたるを以て、葱頭、百合等の如き早春より生育を開始する蔬菜類は前期の生育振はず作況不良なるを免れ得ざりしも、七月に入りてより氣温上昇し雨量亦多かりし爲、一般果菜類は生育極めて順調に經過し作況良好なりき。果樹にありては六月中、下旬旱魃の影響を蒙り、果實の肥大生育稍不良なりしも、七月以後高温多照の天候持續せるを以て成熟促進せられ、苹果「國光」の如きも着色平年に比し良好なるを得たり。病害蟲は十字花科蔬菜特に結球白菜に對しカブラハバチ及蚜蟲、苹果に對してはリンゴハダニ及葉捲蟲の發生多かりし他は平年と大差なかりき。

本年度施行せる種類左の如し

# イ 蔬菜及花卉に関する試験及調査

- 一 品種選抜試験（玉蜀黍、菜豆、豌豆）
- 二 蕃茄仕立法試験
- 三 茄子早熟栽培試験
- 四 露地メロン整枝法試験
- 五 セルリー栽培法試験
- 六 アスパラガス收穫期試験
- 七 蕃茄摘心に關する調査
- 八 蔬菜多毛作栽培に關する試験
- 九 蔬菜施肥法試験
- 一〇 葱頭間作綠肥播種期に關する調査
- 一一 アスパラガス性對生産力試験
- 一二 蔬菜種子貯藏試験
- 一三 南瓜結果部位に依る瓢果の品質に關する調査
- 一四 蔬菜分布状態に關する調査
- 一五 蔬菜類の生育に關する試験（超短電波利用）
- 一六 花卉の特性並に採種に關する調査
- 一七 本道特産野草に關する調査

# ロ 果樹に關する試験及調査

- 一 品種選抜試験（樹莓、梅、葡萄）
- 二 苹果摘果試験
- 三 葡萄熟期促進に關する試験
- 四 梨交配親和性に關する試験
- 五 芽接に關する調査
- 六 砧木比較試験
- 七 葡萄免疫性砧木に關する調査
- 八 果樹園土壤管理法試験
- 九 苹果黒點病豫防試験
- 一〇 果樹挿木に關する試験（超短電波利用）
- 一一 果汁殺菌に關する試験（同）
- 一二 果實貯藏に關する試験（同）
- 一三 種子發芽試験（同）
- 一四 委託試験

イ 傾斜地に於ける苹果栽培に關する試験（余市町）

ロ 寒冷地方に於ける苹果栽培に關する試験（上湧別村）

ハ モニリヤ病發生地方に於ける苹果栽培に關する試験（江部乙村）

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

## 一 蕃茄仕立法試験

蕃茄の適當なる仕立法を知らんが爲、一本仕立不摘心、一本仕立摘心、側枝結果、主莖更新、主莖二本及放置の六方法に就き試験を行ひたるに、一本仕立摘心は收穫期早く且仕立容易なるを以て、市場用蕃茄栽培に最も適し、而して整樹を行

はずして放置し單に支柱に誘引せるものは、整枝に時間を要せず且收量多く實割れ少なき爲、加工原料蕃茄専門栽培の場合注目すべき方法なるを認めたり。

二 露地メロン整枝法試験

露地メロンの整枝法に關し子蔓三本一箇成(在來法)、同二箇成、子蔓一本五葉一箇成、同一〇葉、同一五葉、同一〇葉及子蔓二本一五葉一箇成の七方法に就き試験を行ひたるに、子蔓一本一五葉一箇成最も良好なるを認めたり。

三 梨「身不知」の交配親和性に關する試験

梨「身不知」の交配親和性を知らんが爲試験を行ひたるに、本種は自家不結實性にして他品種と混植するの要あるを認めたり。而して他家交配にありては供試品種の孰れとも相互間に交配親和性大なるを認めたり。

四 土性、施肥標準及土地改良に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數
土性調査		一		四〇〇
施肥標準調査		三		九六
土地改良に關する試験		一		九六
基礎試験及調査		二		四九六
計		一七		九九二

本年度は前年に繼續し、土地改良並に地力涵養の地方的基本資料を得んが爲土性調査、施肥標準調査、土地改良に關する

試験並に基礎試験及調査を行ひたり。

イ 土性調査

本年は調査員一班を派し、後志國磯谷郡南尻別村及磯谷村に於ける土性調査を行ひたるが、其の調査面積三萬町歩、設定せる土壤區四〇區なりとす。

ロ 施肥標準に關する試験及調査

一 植木鉢三要素試験

本年度は前年に繼續し、石狩國六箇町村の土壤に就き、水稻を栽培し試験を施行せり。

本年度試験を施行せる土壤採集箇所を示せば左の如し

幌向村、北村、江部乙村、芦別村、瀧川町、美唄町

二 現地三要素試験

本年度は膽振、石狩、北見、釧路、十勝及後志の六箇國一三箇町村一四箇所の土壤に就き、水稻、燕麥及大豆を栽培し試験を施行せり。

本年度施行せる試験箇所を示せば左の如し

八雲町、北村、芦別村、瀧川町、美唄町、頓別村、枝幸村、猿拂村、稚内町、津別村(二箇所)、芽室村、豊頃村、樽岸村

三 現地肥料配合試験

本年度は渡島、膽振、石狩、後志、釧路及根室の六箇國一九箇町村三〇箇所の土壤に就き、水稻及燕麥を栽培し試験を施

行せり。

本年度施行せる試験箇所を示せば左の如し

森町二箇所、苦小牧町、安平村二箇所、惠庭村四箇所、白老村、泊村二箇所、別海村、白石村、手稻村、石狩町、當別村、新篠津村、岩見澤町、厚真村三箇所、太槽村、八雲町二箇所、黒松内村二箇所、濱中村二箇所、弟子屈村

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 現地三要素試験（北村、芦別村、瀧川町、美唄町、頓別村、枝幸村、猿拂村、稚内町）
- 二 現地肥料配合試験（苦小牧町、安平村二箇所、惠庭村四箇所、泊村二箇所、別海村、白石村、手稻村、石狩町、當別村、岩見澤町、厚真村三箇所、太槽村、八雲町二箇所、黒松内村二箇所、濱中村二箇所、弟子屈村）

### ハ 土地改良に關する試験

一 空知支廳管内に於ける土地改良試験

本試験は前四箇年に互り心土改良に關する試験を施行したる結果、改良の効果顯著なるものあるを認めたるを以て、更に本年度に於ては之が試験成績に基き重粘地に於ける総合的改良法を究明せんが爲、農家圃場に就き實地應用試験を施行せり

本年度施行せる試験箇所を示せば左の如し

- 一 空知郡芦別村字野花南
  - 二 後志支廳管内に於ける土地改良試験
- 本試験は前年に繼續し、第一年目に於ける心土改良の効果及其の永續性並に排水の効果を査察せんが爲施行せり。
- 本年度施行せる試験箇所を示せば左の如し
- 一 壽都郡黒松内村字蕨野

### ニ 基礎試験及調査

本試験の目的は土性並に施肥標準調査、土地改良に關する試験事業施行上参考に資せんが爲施行せるものなり。本年度施行せる種類左の如し

- 一 燕麥對稚苗法による土壤有效態養分檢定法に關する調査
- 二 土壤酸性矯正石灰用量試験（燕麥、小豆、馬鈴薯）
- 三 肥料及土壤中に於ける三要素の消長と水稻の各生育期間に於ける三要素吸収に關する調査
- 四 水稻對各種窒素質肥料配合に關する試験
- 五 堆肥施用法試験（燕麥、馬鈴薯）
- 六 水稻對窒素利用率に關する試験
- 七 菽豆類に對する施肥法に關する試験

### 五 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面	積
土壤に關する試験及調査		九		四〇		一、五〇〇 <small>平方米</small>
肥料に關する試験及調査		三五		五八〇		六、八〇〇

ライシメーターに關する試験及調査	四	一六	一〇〇
其の他の試験及調査	八	二〇	一〇〇
委託試験	二二	三四	二〇〇
計	六八	九九	三〇、五〇〇

本試験は、地力の維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類等に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻對三要素試験
- 二 地力減耗試験(大麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、黍、大豆、小豆、馬鈴薯、亞麻、春播菜種)
- 三 水田有機物減耗試験
- 四 馬鈴薯對石灰と地力關係試験
- 五 堆肥、硫酸アンモニア配合關係と地力増進に關する試験(燕麥、菜豆、馬鈴薯)
- 六 酸性土壤に關する調査
- 七 連作に關する調査
- 八 泥炭の特性に關する調査
- 九 各地に分布する泥炭土の理化學的一般性質に關する調査
- 一〇 特殊原野開發に關する調査
- 一一 勇拂原野開發に關する調査
- 一二 鹿部村火山灰地に關する調査
- 一三 根釧原野火山灰土に關する調査
- 一四 火山灰分布調査

- 一五 石灰窒素と堆肥關係試験(水稻、燕麥)
- 一六 トーマス燐肥肥效試験(水稻、燕麥)
- 一七 綠肥用黃花ルービン及赤クローバー肥效試験
- 一八 有機質肥料の分解に關する試験
- 一九 石灰岩粒形の大小による酸性矯正の效果進度に關する調査
- 二〇 氣候状態を異にする本道各地に於ける水稻肥料三要素成分需要量に關する調査
- 二一 鶏糞貯藏法に關する調査
- 二二 堆肥窒素損失防止に關する調査
- 二三 水稻三要素需要量に關する調査
- 二四 各種土壤對肥料成分漏洩量査定試験(本場土、舊本場土、早來火山灰地土壤、琴似泥炭土)
- 二五 小麥對施肥法と地力關係試験
- 二六 積雪及融雪水が土壤に及ぼす影響調査
- 二七 灌溉水による要素の天然供給量調査
- 二八 黃花ルービン間作時期試験
- 二九 採種用黃花ルービン播種期節試験
- 三〇 黃花ルービン間作對主作物の畦幅に關する試験
- 三一 根瘤菌の接種時期に關する試験
- 三二 綠肥作物對根瘤菌接種試験
- 三三 黃花ルービン根瘤菌接種操作に關する調査
- 三四 綠肥作物對土壤反應並に根瘤菌接種に關する調査
- 三五 本道主要農作物の化學的成分調査

三六 委託試験

イ 本場監督にて施行せしもの

一 酸性土壤に於ける緑肥堆肥肥効試験(燕麥、馬鈴薯)(小澤村)

二 緑肥用黄花ルービン肥効試験(馬鈴薯)(幌加内村、利別村、黒松内村、白老村、弟子屈村、斜里村、雄武村、苦前村、中頓別村)

ロ 天鹽試作場監督にて施行せしもの

一 客土及石灰施用と地力との關係試験(馬鈴薯)(天鹽町)

二 石灰施用量試験(燕麥)(天鹽町)

酸性土壤地に關する試験

一 三要素試験(燕麥、馬鈴薯)(天鹽町)

二 堆肥施用量試験(燕麥、馬鈴薯)(天鹽町)

ハ 稚内試作場監督にて施行せしもの

一 飼料作物對石灰用量試験(チモシー、瑞典燕麥)(稚内町)

二 堆肥施用法試験(燕麥、馬鈴薯)(稚内町)

三 三要素試験(燕麥)(稚内町)

四 酸性矯正試験(燕麥)(稚内町)

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 トーマス燐肥肥効試験

水稻にありてはトーマス燐肥の肥効最も優り、過燐酸石灰之に亞ぐを示し、燕麥にありてはトーマス燐肥と過燐酸石灰の肥効伯仲し、燐酸アルミナの肥効は水稻、燕麥共に劣れるを認めたり。

二 黄花ルービン間作時期試験

黄花ルービン間作時期と收量との關係を知らんが爲、裸麥及燕麥を主作物として行ひたるに、裸麥、燕麥共に間作時期遅きもの程收量優れるも、黄花ルービンの生草收量は七月上旬に間作せるもの最も優るを認めたり。

三 黄花ルービン間作對主作物の畦幅に關する試験

黄花ルービン間作に當り、主作物の畦幅が黄花ルービンの收量に及ぼす影響を知らんが爲、裸麥、春播小麥及燕麥を主作物として行ひたるに、七月上旬に間作する場合、主作物は孰れも畦幅四五種にせるもの黄花ルービンの收量最も優り、之より畦幅廣きに隨ひ漸次收量減少するを認めたり。

四 採種用黄花ルービン播種期節試験

採種用ルービンの播種期と採種量との關係を知らんが爲行ひたるに、五月中旬に播種せるもの收量最も多く、之より晚播するに隨ひ減收著しく、殊に六月に入りて播種せるものは、未熟粒の混入多き爲種子用として不適なるを認めたり。

六 病理に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
病害防除に關する試験及調査		七		九五		四九〇 <small>平方米</small>
其他の試験及調査		一三		三〇		四五〇
委託試験		四		一二五		九四〇
計		二四		一五五		一四八〇



本試験は、本道重要農作物に對する主なる病害に就き、緊要なる諸般の事情を闡明し、以て病害防除の資料を得るを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 稲苗腐敗病防除試験
- 二 小麦萎縮病と品種との關係試験（十勝支場にて施行、同場と共通方案）
- 三 甜菜立枯病防除試験（甜菜部と共通方案）
- 四 甜菜立枯病防除試験（二）（甜菜部と共通方案）
- 五 粉劑による甜菜褐斑病防除試験（甜菜部と共通方案）
- 六 藥劑による根瘤線蟲病防除試験（甜菜部と共通方案）
- 七 甜菜根瘤線蟲病防除試験（甜菜部と共通方案）
- 八 セルリー腐敗病防除試験
- 九 稻熱病に關する調査
- 一〇 稻苗腐敗病に關する調査
- 一一 燕麥冠狀銹病に關する調査
- 一二 麥類赤黴病に關する調査
- 一三 馬鈴薯萎縮病に關する調査
- 一四 茶豆細菌病に關する調査
- 一五 除蟲菊病害に關する調査
- 一六 病原線蟲の分布に關する調査
- 一七 美唄泥炭地植物調査
- 一八 本道重要農作物病害に關する調査

- 一九 病害分布調査
- 二〇 農作物連作地病害に關する調査
- 二一 委託試験
  - イ 大豆品種と大豆萎黃病との關係試験（厚澤部村）
  - ロ 大豆萎黃病と石灰窒素との關係試験（厚澤部村）
  - ハ 大豆萎黃病と間作との關係試験（厚澤部村）
  - ニ 大豆萎黃病と輪作との關係試験（厚澤部村）

## 七 昆蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
害益蟲に關する試験		三		八五		
害益蟲に關する調査		二〇		一三		
委託試験		二				
計		二五				

本試験は、本道重要農作物に對する主なる害蟲並に其の益蟲に就きて試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 殺實量及時期の差異による燻蒸劑殺蟲效果試験
- 二 豌豆象蟲に對する燻蒸劑比較試験

- 三 粉劑の夜盜蟲殺蟲效果比較試驗(甜菜部と共通方案)
- 四 重要害益蟲飼育調査
- 五 害蟲分布調査
- 六 二化性蚊蟲に關する調査
- 七 稻泥負蟲に關する調査
- 八 稻泥負蟲寄生蜂に關する調査
- 九 イネキイロハモグリバへに關する調査
- 一〇 葉潜蠅に關する調査
- 一一 コガネムシに關する調査
- 一二 針金蟲に關する調査
- 一三 大豆莢蠹蟲に關する調査
- 一四 豌豆莢蠹蟲に關する調査
- 一五 豌豆象蟲に關する調査
- 一六 甜菜害蟲に關する調査
- 一七 苹果葉蟬に關する調査
- 一八 櫻桃實蠅に關する調査
- 一九 葱頭スリツブスの天敵移入に關する調査
- 二〇 苹果綿蟲の天敵移入に關する調査
- 二一 府縣育苗水稻寄生害蟲に關する調査
- 二二 殺蟲竝に驅蟲劑に關する調査
- 二三 本道重要害益蟲に關する調査

二四 委託試驗

イ 豌豆莢蠹蟲防除試驗(上富良野村)  
 ロ 櫻桃實蠅防除試驗(増毛町)

右の内本年度完了し又は一部完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 豌豆象蟲に對する燻蒸劑比較試驗  
 豌豆象蟲防除上二硫化炭素及クロールピクリンの燻蒸をなすに當り、其の使用量、燻蒸時間の差異が殺蟲效果竝に種子の發芽能等に如何なる影響ありやを知り、以て之が實用上の標準を得んとして試驗せるに、本試験の範圍にありては兩藥劑共に種子の發芽能に對して特に影響を與へざるも、殺蟲效果に於ては二硫化炭素の夫れは著しく劣り、藥量一、〇〇〇立方尺に付一二封度を使用して七十二時間燻蒸をなせるものにて全死を見るに至らず、之に反しクロールピクリンにありては同じく〇・七五封度を使用せるに、四八時間及七十二時間燻蒸のもの共に全死を示せり。然れども之が實際の使用に當りては燻蒸すべき種子量、瓦斯の漏洩等をも考慮するの要あり。仍て豌豆象蟲に對しては一、〇〇〇立方尺に對しクロールピクリン一封度の割合を以て七十二時間の燻蒸を行ふを可とすと認めたり。

二 粉劑の夜盜蟲殺蟲效果比較試驗  
 甜菜夜盜蟲に對する砒酸石灰及砒酸鉛粉劑の效果を知らんとし、消石灰を諸種の割合に混合して調製せる粉劑を用ひて比較せるに、砒酸鉛粉劑は濃度高きものの效果優るも、砒酸石灰粉劑は濃度高きものに於ても其の效果著しく劣り實用上價值乏しきを認めたり。而して砒酸鉛粉劑にありても同液劑に比するときは效果劣り、反當所要經費亦多く要する等不利の點存するも、事情止むを得ざる場合に限り限定的に使用するを適當と認めたり。

三 苹果葉蟬防除劑に關する調査(苹果葉蟬に關する調査の一部)  
 苹果葉蟬に對し適當なる防除法を案出せんとし、種々なる藥劑を供試して越冬卵に對し早春撒布或は燻蒸を施行せるに、石灰硫黃合劑、硫化加里液、硫酸ニコチン液、靑酸瓦斯等は殺卵率低く孰れも效果の見るべきものなかりしが、機械油系統の乳劑の殺卵率は比較的高く有效なるを示し、就中機械油乳劑の實用價值大なるを認めたり。

四 苹果綿蟲の天敵移入に關する調査

近年北亞米利加より青森縣に移入せられ増殖中の苹果綿蟲寄生蜂ワタムシヤドリコバチを本道に移入せんとして、昭和八年豊林省より之が分譲を受け調査せるに、本道に於ても越冬し得る見込を得たるを以て、同十二年更に多數を移入本道内一四箇所の苹果園に放飼せるに、從來該寄生蜂の發生を認めざりし地帯に於て完全に固定し、秋季に至る迄世代を重ね放飼以外の周圍に迄傳播し其の效果著しく、苹果綿蟲防除法の一として本寄生蜂利用の可能なるを認めたり。

五 府縣育苗水稻寄生害蟲に關する調査

昭和十一年以降本道水稻種子を府縣に送付し、早春育苗し之を移入栽植するの試みをなすものありしが、是等に就き現地調査をなせるに、調査せる範圍にありては本道未發生の害蟲寄生し、若は現に分布せる害蟲にありても本道に於けるよりも早く發生し居るを認めたり。而して其の種類は育苗地方に依り明に異なるを見たり。是等直接調査せるものに對しては夫れ夫れ處置し禍根を將來に残さざるやう努めたるが、斯の如きを以て府縣育苗水稻の移入は害蟲防除の立場より見て嚴禁すべきものと認めたり。

六 大廿八星瓢蟲防除劑に關する調査(殺蟲竝に驅蟲劑に關する調査の一部)

馬鈴薯害蟲大廿八星瓢蟲に對する防除劑として砒酸鉛、砒酸石灰及亞砒酸曹達(札幌合劑として使用)の三種消化中毒劑を用ひ、其の殺蟲效果竝に收量收益の關係を調査せるに、殺蟲效果にありては成蟲に對しては砒酸鉛液優り、砒酸石灰液之に亞ぎ、札幌合劑劣り、幼蟲に對しては寧ろ砒酸石灰液優り、砒酸鉛液之に亞ぎ、札幌合劑劣るを見たり。而して收量竝に收益の關係にありては、收量割合は砒酸鉛加用ボルドウ合劑優り、砒酸石灰加用ボルドウ合劑、砒酸石灰液、札幌合劑順次し、收益割合は、砒酸石灰液、砒酸鉛加用ボルドウ合劑の順位にあり。乃ち馬鈴薯を害する場合の大廿八星瓢蟲の防除劑として、砒酸石灰は實用上有效にして其の使用を勸奨すべきものと認めたり。

七 昭和十二年本道に於て發生せる特に注意すべき害蟲に關する調査(本道重要害益蟲に關する調査の一部)

昭和十二年の氣候は春季以來概して適順なりしが、各種害蟲の發生尠からず地方的に相當の被害を見たるものあり。特に今後注意すべきものはヒメサクラコガネ、キタバコガネ等なりとす。

八 農具に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

農具に關する試験及調査	種類	種類	數	區	數
試驗及調査の種類			四		一三

本試験は、各種農具の實用的價値を比較調査し、之が合理的なる使用法を考究し、以て當業者の選擇に便ならしむると共に、他面農具の改良發達を圖らんとするを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 風車の利用に關する調査
- 二 石灰攪入法に關する調査
- 三 赤クローバーの脱粒に關する調査
- 四 依頼農具に關する調査
  - イ 人力用脱穀機に關する調査
  - ロ 碎土機に關する調査
  - ハ 噴霧器に關する調査
  - ニ 玉蜀黍脱粒機に關する調査

九 蠶桑に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	区数	面積及畝数
栽桑に關する試験及調査		一		四	二〇〇 <sup>平方</sup>
育蠶に關する試験及調査		三		三二	二〇〇 <sup>平方</sup>
計		四		三六	二四九 <sup>平方</sup>

本試験は、養蠶經營上必要なる桑樹の合理的栽培並に蠶品種に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 桑樹對酸性土壤矯正試験
- 二 蠶品種特性調査
- 三 蠶一代交雜種比較試験
- 四 本道産繭と府縣産繭との繭糸織度比較調査

### 一〇 農産加工に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	区数
農産加工に關する試験及調査		一七		一七
農家の食糧に關する調査		一		一八
計				七九

本試験は、本道主要農産物に對する合理的加工並に利用法に就き試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 玉蜀黍罐詰殺菌法試験
- 二 玉蜀黍罐詰注入液調製法試験
- 三 玉蜀黍罐詰注入液用量試験
- 四 アスパラガス罐詰加熱殺菌試験
- 五 アスパラガス罐詰注入液調味試験
- 六 梨品種對罐詰製造試験
- 七 梨罐詰殺菌法試験
- 八 梨罐詰注入液試験
- 九 大豆品種對醬油製造試験
- 一〇 小麦品種對製麵試験
- 一一 道産主要食糧農産物の加工調理法に關する調査
- 一二 道産主要農作物の化学成分に關する調査
- 一三 加工用蔬菜に關する調査
- 一四 果實の加工に關する調査
- 一五 根菜類の貯藏法に關する調査
- 一六 稗糠油に關する調査
- 一七 超短電波の應用に關する調査
- 一八 本道農家の食糧に關する調査

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 小麦品種對製麵試驗

本試験は、單一品種の小麦粉を使用して麵類製造の際、小麦の品種により製麵操作の難易、製品の歩止及製品の品質に如何なる差異あるやを査察し、以て農家自家用麵類製造に適する小麦品種を知らんが爲、道産小麦「小麦農林八號」、「赤銹不知一號」、「ドーソン一號」及「春時小麦農林三號」の四品種に就き行ひたるに、麩素の含量多き「ドーソン一號」は生麵の製造操作容易なるも、乾燥麵製造には乾燥急にして脆弱となり良品を得難く、麩素の含量多き「春時小麦農林三號」は生麵の製造操作困難なるのみならず色調亦良好ならざる如く、麩素の含量が極端ならざる「赤銹不知一號」及「小麦農林八號」は共に大差なく製造操作容易にして品質亦比較的優良なるを認めたり。

二 アスバラガス罐詰加熱殺菌試験

アスバラガス水蒸氣製造に當り適當なる加熱殺菌溫度竝に時間を知らんが爲、殺菌溫度を華氏二二二度、二二七度、二四〇度及二五〇度となし、是等を注入液に酸を添加するものとせざるものとに分ち、更に夫れ夫れ加熱時間を異にして試験せるに、酸を添加せるものは耐酸性の罐を使用するに非れば罐材黑變する缺點あるを以て、實際製造に當りては華氏二二七度にて四〇分乃至同二四〇度にて三〇分の間に行ふを可とするを認めたり。

三 アスバラガス罐詰注入液調味試験

アスバラガス水蒸氣罐(壘)詰製造に當り、之が調味料として食鹽、砂糖、味の素及枸橼酸加用の可否竝に其の用量を知らんが爲行ひたる試験成績に據れば、これが注入液として適當なるものは、水一立に對し食鹽二〇乃至二五瓦、砂糖一〇瓦及味の素二瓦内外を加へ加熱、溶解せるものにして、味の素の加用は原料の水漂過度のものに特に效果多く、枸橼酸の混用は香氣を幾分減殺するの傾向あるも、他面加熱殺菌時間を短縮するの效果あるを以て、之を混用せんとする場合は一瓦以内の使用を適當と認めたり。

一一 畜産に關する試験及調査

イ 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査			九	一五〇	四、九一七
耕種に關する試験及調査			四	四一	一、九一七
肥料に關する試験及調査			一	六	一六五
其他の試験及調査			二	四〇	一六五
計			一六	二三七	七、一六四

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種試験(飼料用玉蜀黍、稗、飼料用根菜類)
- 二 適否試験(飼料用葉菜類、青刈作物)
- 三 チモンシ及赤クローバー泥播量試験
- 四 飼料用玉蜀黍播種期節節試験
- 五 飼料用玉蜀黍收穫期節節試験
- 六 玉蜀黍培土に關する調査
- 七 飼料用ビート對窒素質肥料肥效比較試験
- 八 飼料用玉蜀黍種子複種に關する調査
- 九 覆土の深淺及鎮壓と萌芽率に關する調査(チモンシ、オーチャードグラス、飼料用根菜類)

### □ 家畜飼養に關する試験及調査

本年度施行せる種類左の如し

- 一 飼料の化學的分析
- 二 風土地帯別畜産の特異性に關する調査(牛)

### ハ 牧野に關する試験及調査

本年度施行せる種類左の如し

- 一 本道牧野利用状況に關する調査

### ニ 家畜衛生に關する試験及調査

本年度施行せる種類左の如し

- 一 蕃殖障害に關する試験及調査

### ホ 畜産加工に關する試験及調査

本年度施行せる種類左の如し

- 一 乳肉製品の農村食糧化に關する調査

## 一二 農業經營に關する試験及調査

### イ 農業經營試験

本試験の目的は、從來の各種試験及調査の成績を綜合して、各主要農業地帯に對し適當なる農業經營法を立案し、農家を  
して之を實施せしめ、其の收支經濟並に日常生活の實情を明にすると共に、漸次改善を加へて地方的模範農場たらしめ、以  
て農業經營改善の資に供せんとするにあり。而して本年度は従前に引續き十勝國幸震の外一五箇所の農場に就き施行せる他、  
後志國歌樂郡熱郭村字赤井川に面積一五町歩の畑作混同農業經營試験農場を新設し、住宅、畜舎の建築をなし、又釧路國阿  
寒郡鶴居村字中雪裡に面積二〇町歩の主畜農業經營試験農場を新設し、孰れも入地者の選定を行ひたり。  
本年度施行せる種類左の如し

名	稱	所 在 地	擔 當 者	監督場名	經營種類	經營面積 町	事業開 始年次
(第二期拓殖計畫に依り設置せるもの)							
北海道農事試験場幸震	經營試驗農場	十勝國河西郡大正村大字幸震村	森志希留	幸震高丘地試驗地	混同經營	一七〇〇	昭和二年
北海道農事試験場中標津	經營試驗農場	根室國標津郡標津村字中標津	今井三右工門	根室支場	主畜經營	一五〇〇	同
北海道農事試験場上斜里	經營試驗農場	北見國斜里郡斜里村字上斜里	關口 峯二	北見支場	混同經營	一五〇〇	同
北海道農事試験場利別	經營試驗農場	後志國瀬棚郡利別村字神丘	渡部 重貞	瀬棚試作場	同	一〇〇〇	同
北海道農事試験場喜茂別	經營試驗農場	膽振國虻田郡喜茂別村字中喜茂別	吉田 實	俱知安試作場	同	一八〇〇	同
北海道農事試験場沼川	經營試驗農場	北見國宗谷郡稚内町字沼川	濱本 喜八	稚内試作場	主畜經營	一九〇〇	同

北海道農事試験場長萬部經營試驗農場	膽振國山越郡長萬部村字道	寺島義美	渡島支場	主畜經營	二〇〇〇	昭和九年
北海道農事試験場幌延經營試驗農場	天鹽國天鹽郡幌延村字下沼	見延傳七	天鹽試驗支場	混同經營	二三〇〇	同十年
北海道農事試験場上士幌經營試驗農場	十勝國河東郡上士幌村字萩ヶ丘	戸水正信	十勝支場	同	二〇〇〇	同十一年
北海道農事試験場美唄經營試驗農場	石狩國空知郡美唄町字茶志内原野	齋藤儀平	美唄泥炭地試驗地	同	一五〇〇	同十二年
(前記計畫以外に設置せるもの)						
北海道農事試験場早來第一經營試驗農場	膽振國勇拂郡安平村字早來	寺島弘	早來火山灰地試驗地	混同經營	一〇〇〇	大正十三年
北海道農事試験場早來第二經營試驗農場	同	瀨谷竹千代	同	同	五〇〇	昭和三年
北海道農事試験場早來第三經營試驗農場	同	西川政二	同	主畜經營	五〇〇	同
北海道農事試験場琴似經營試驗農場	石狩國札幌郡琴似村字發寒	坪山與三太郎	本場	混同經營	一五〇〇	大正十五年
北海道農事試験場野付牛經營試驗農場	北見國常呂郡野付牛町	江頭作藏	北見支場	穀菽經營	水田 三・七〇 畑其他 一・六九	昭和四年
北海道農事試験場永山經營試驗農場	石狩國上川郡永山村	齋藤留五郎	上川支場	同	水田 三・五〇 畑其他 一・〇〇	同五年

### 農業模範經營

本試験の目的は、北海道農事試験場試作場に於て、當該試作場並に本、支場從來の試験及調査の成績を綜合し、且所在地方の實情に鑑み、其の地方に最も適應せる農業經營法を立案し、農家をして之を行はしめ、其の收支經濟並に日常生活の實情を明にし、以て地方農業經營法の指針たらしめんとするにあり。而して本年度は従前に引き続き、釧路試作場の他六箇所の農場に就き施行せり。

本年度施行せる種類左の如し

名	稱	所 在 地	擔 當 者	監督場名	經營種類	經營面積	事業開始年次
釧路試作場模範經營農場	釧路國厚岸郡太田村	菅谷亥之助	釧路試作場	主畜經營	一五〇〇	大正十二年	
天鹽試作場模範經營農場	天鹽國天鹽郡天鹽町字川口	須藤作太郎	天鹽試作場	混同經營	七〇〇	昭和三年	
日高試作場模範經營農場	日高國靜内郡靜内町	前川繁一	日高試作場	穀菽經營	水田 一〇〇 畑其他 四〇〇	同	
瀬棚試作場模範經營農場	後志國瀬棚郡利別村字神丘	鈴木二郎	瀬棚試作場	同	水田 三〇九 畑其他 一九〇	同六年	
美瑛試作場模範經營農場	石狩國上川郡美瑛村字美瑛原野	高橋龜一郎	美瑛試作場	同	六九七	同	
稚内試作場模範經營農場	北見國宗谷郡稚内町大字藤間村字蘇別	畠中重信	稚内試作場	主畜經營	一・二・三	同九年	
(地方費臨時豫算を以て設置せるもの)							
北海道農事試験場士別經營試驗農場	天鹽國上川郡士別町	安達金司	上川支場	穀菽經營	水田 三・五〇 畑其他 一・五〇	昭和七年	

### 農業經營改善

本試験の目的は、從來の各種試験の成績を綜合し、各主要農業地帯に對し實際農家に委託し、適當なる農業經營法を實施せしめ、漸次改善を加へて地方的模範農場たらしめ、以て農業經營改善の資に供せんとするにあり。而して本年度は従前に引き続き膽振國岩尾別の農場に就き施行せる他、四箇所に農場及受託者を選定して施行せり。

名	稱	所在地	擔當者	監督場名	經營種類	經營面積	事業開始年次
北海道農事試験場	岩尾別經營改善農場	膽振國虻田郡俱知安町字岩尾別	安達 勇	俱知安場	混同經營	二六九七町	昭和七年
北海道農事試験場	利別經營改善農場	後志國瀨棚郡利別村字日進	田島 市太郎	瀨棚試作場	同	二七〇〇町	同十二年
北海道農事試験場	羽幌經營改善農場	天鹽國苫前郡羽幌町字築別	越智 卯平	天鹽試作場	同	一〇〇〇町	同
北海道農事試験場	幕別經營改善農場	十勝國中川郡幕別村字大字	藤岡 清兵衛	十勝支場	同	三〇〇〇町	同
北海道農事試験場	沼田經營改善農場	石狩國雨龍郡沼田村字沼田炭礦農地	塚八 卯太郎	本場	同	一〇六二町	同

以上各試験の内、經營試驗農場、模範經營農場並に岩尾別經營改善農場に於ては、本年の氣候概して適順なりしを以て、豫期の収益を擧げ得、且合理的なる經營法と適切なる耕種技術の運用とに據り、經營法改善の効果を明示し、地方農家を啓發せるところ尠からざりき。又新設の經營改善農場に於ては用地の區劃整理を了し、土地改良事業を行ひたり。

## 第二 普及事業

### 一 農事教習生の養成

本年度養成せる農事教習生左の如し  
 農業實習生 三〇名 (一年生一八名、二年生一二名)  
 農業練習生 五三名 (男子三九名、女子一四名)

### 二 印刷物の刊行及配付

本年度刊行及配付せる印刷物左の如し

種別	刊行部數	配付部數
報時集	九〇〇	八八九
其の計	三六、〇〇〇	四、〇五九
報報告	二二、七四二	二二、四五四
他報報告	五九、六四二	一五、六六二
計		四四、〇六四

### 三 見本作

試験に屬せざる各種農作物を栽培し、又綠肥作物、飼料作物、特用作物、桑、觀賞用灌木、果樹、蔬菜並に花卉等の見本園を設置し、試験施行上の豫備的調査を行ふと共に參觀者に供覽せり。

### 四 種苗の配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し



種類名	配付数量	種類名	配付数量
水稻	二〇九・三	菜豆	一〇〇
陸稻	二五八・八	豌豆	三・四
裸麥	七・九	薯蓣	一六三・一
秋播麥	二三〇	菜	二、七〇〇
春播麥	七一・四	鈴	九一八・五
燕麥	一五・七	種麻	二・〇
玉蜀黍	三二・九	豆種	五・三
大豆	一五・一	綠肥	九・一
小豆	〇・二	大豆	〇・八及四八
	二五・三	蔬菜種子(蕃茄外一四種)	一四二
	五一・二	果樹苗木(苹果外三種)	

右の外、綠肥作物黃花ルービン根瘤菌を培養し、全道郡市町村農會並に農家希望者へ無償を以て配付せる數量は、試験管入一〇、〇〇〇本、硝子瓶入二、〇〇〇本なり。

### 五 農事指導

本年度に於て講習講話會、其他により指導を行ひたるもの左の如し

區別	回数	數	摘要
講習會	二六回	二六	
講習會	一〇二	二六	
講習會	二六	二二	
講習會	二六	一一	
講習會	二六	一一	
講習會	二六	二二	

### 六 質疑應答

本年度質疑を受け應答せるもの八五五件なり。

### 七 依頼分析

本年度に於て依頼を受け分析を行ひたるもの左の如し

區別	件數	成分數
農肥土	一六一	五八八
肥料	二〇九	七七九
作物	一四	二八
壤土		

飼料	三二	二二
水	一四	三三〇
糖	三	四二
其他	三	二二
計	四三六	二〇〇一

### 八 種苗の鑑定

本年度依頼を受け鑑定をなせるは蔬菜種子六件なり。

### 九 參觀人

本年度の參觀人總數は一六、〇三四名なり。

### 第三 其他 一出張

本年度に於て指導、調査及事務打合、其の他の爲場員の出張せる状況左の如し

區	別	回	數	延日	數
技農	林技師		八八回		四四九日
屬農	林技師		四九		五三六
技農	林主事		二九		一二四
農	林主事		一六〇		一〇九七
助農	林技師		七		三九
副助	林技師		四一		五四八
其	林技師		一二七		七二九
其他	林技師		三〇		一一八
其他	林技師		四四		二三〇

### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數左の如し

區	別	件	數	摘要
發送	普通文書及親展文書を含む		一、八五〇	
接受	普通文書及親展文書を含む		二、一四三	

### 三 畜産部試験圃の造成

本年度内に四町五反歩の飼料作物試験圃を造成せり。

### 四 畜産部建物の建設

廳舎の一部、官舎(判任官舎一棟二戸)を建築せる外、左記建物を建築せり。

名	稱	員數又は坪數	名	稱	員數又は坪數
厩	舎	四九・五坪	牛	舎	一二二・二坪
作	舎	四八・〇	定	舎	五九・〇
農	舎	五〇・〇	サ	口	二種四戸
釜	場	八・五	イ	口	一・五坪
			夫		

## 美唄泥炭地試験地

### 第一 試験及調査

#### 一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類	種數	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一		二四		一、五〇〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査		五		六二		一、三一〇
耕種に関する試験及調査		一		六		三六〇
其他の試験及調査		一		四		八〇
計		一八		九六		三、二五〇

本試験は、泥炭地の改良に伴ひ各種作物の適否、耕種肥培等に関する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年融雪後の天候は一般に低溫勝にして、加之、六月中、下旬は乾燥に失したりしも、七月に入り恢復を見、爾後は概して適順に経過せり。随つて各作物は發芽に長時日を要し、且其の状況稍良整を缺きたるもの多く、初期の生育亦一般に抄々しからざりき。其の後生育順調に向ひたりしも、夏收作物は概ね充分なる作況の挽回を見るに至らずして成熟期に達せる爲、秋播小麥を除

き孰れも減收を來し、秋收作物は小豆の稍減收なりし外は孰れも増收を示したり。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶参照試験（水稻、秋播小麦、秋播ライ麦、燕麦、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、秋播菜種）
- 二 品種試験（水稻、稗、菜豆、馬鈴薯、春播菜種）
- 三 水稻落水期に關する試験
- 四 陸稻適否試験

## 二 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	種類	種類	種類	種類	種類
品種改良に關する試験及調査							
耕種に關する試験及調査							
土壤肥料に關する試験及調査							
其他の試験及調査							
計							
	一〇	三	三	二	二	一九	四八〇
						二六	一〇四〇
						三〇	九〇〇
						八	一六〇
						八三	二、五八〇

本試験は、泥炭地に於ける飼料作物の適否、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種試験（飼料用玉蜀黍、飼料用燕菁）

- 二 適否試験（ケール、甘藍、龍舌菜）
- 三 牧草播種期節節試験（チモシー、赤クローバー）
- 四 飼料作物三要素試験（飼料用玉蜀黍、チモシー、赤クローバー）

## 三 土地改良に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	種類	種類	種類	種類	種類
客土に關する試験及調査							
	三					三四	五四〇

本試験は、泥炭地の適當なる改良法に就き試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 客入土の土性に關する試験（水稻、小豆）
- 二 客土法に關する試験（水稻）
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 客入土の土性に關する試験
- 低位泥炭地水田に於ける客入土の土性が水稻の生育並に收量に及ぼす影響及稻熱病との關係を査察せんが爲施行せるに、  
埴土、壤土を客入するの比較的得策なるを認めたり。

## 四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	區	數	面	積
三要素に關する試験及調査			三		六八		一、四〇〇
肥效に關する試験及調査			三		二四		六八〇
其の他の試験及調査			五		七五		一、五一五
計			一一		一六七		三、五九五

四六

本試験は、泥炭地を改良し地力の維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類、肥效等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 三要素試験(燕麥、馬鈴薯)
- 二 水稻對三要素並に其の比率に關する試験
- 三 土壤酸度矯正試験(水稻、馬鈴薯)
- 四 馬鈴薯對石灰と地力との關係試験
- 五 トーマス燐肥肥效比較試験(水稻、燕麥)
- 六 燕麥對セメントダスト肥效比較試験
- 七 水稻對肥料配合試験
- 八 水稻對堆肥用量試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 水稻對三要素並に其の比率に關する試験
- 二 低位泥炭地水田に於て、水稻に對し三要素天然供給量を査察すると共に、斯種土壤水田地帯に於ける水稻栽培に對し最も

適當せる三要素の配合割合を見出さんが爲施行せるに、低位泥炭地(埴土を客入せるもの)に於ける水稻に對しての施用要素量は、陌當窒素一五疋、燐酸三〇疋、加里三〇疋を適當と認めたり。

二 燕麥對トーマス燐肥肥效比較試験

高位泥炭地に於ては、トーマス燐肥優り、過燐酸石灰之に亞ぎ、燐酸アルミナ稍劣るを認めたり。

### 五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
病害蟲に關する試験及調査			二		一		一

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 二 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(蔬菜及花卉)

### 六 農業經營に關する試験及調査

一 美唄泥炭地經營試験

本試験は、既往の各種試験及調査の成績を綜合して石狩國空知郡高位泥炭地に對し、食糧及飼料の自給を基調とせる一五

四七

町歩混同農業經營法を立案し、之を實際農家をして實施せしめ、其の經營及生活の實情を詳にし且漸次改善を加へ、以て地方模範農場の域に到達せしめんとするにありて本年は作付の初年目なり。而して融雪後の天候低冷なりしを以て發芽の狀況一般に劣り、加之六月中、下旬の天候乾燥に失したりし爲初期の生育一般に不振なりき。七月に入り天候適順となるに及び各作物共相當生育の進捗を見、夏收作物は燕麥の佳良なりし外は概して劣れるも、秋收作物は馬鈴薯の減收せしを除き、其の他は概して良好にして、特に客土を行ひ土地の改良を圖りたるもの優り、相當見るべき成績を擧げ得たり。

## 第二 普及事業

### 一 見本作

試験及調査に屬せざる各種蔬菜、花卉等を栽植し、事業上の參考に資すると共に參觀人に供覽せり。

### 二 農事指導

講習講話會、協議會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

### 三 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

### 四 參觀人

本年度の參觀人總數は六二五名なり。

## 第三 其の他

### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技手一二回四二日、副手一回二日なり。

## 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送六〇件、接受一一六件なり。

### 三 用地の整理

本年度に於て試験用地の客土並に排水溝の浚渫を行ひたり。

## 早來火山灰地試験地

### 第一 試験及調査

#### 一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種數	區數	面積	積
豊凶考照試験		一八		二四	一、三二二
品種改良に關する試験及調査		一一		一〇一	二、八三〇
耕種に關する試験及調査		五		三一	六七八
其他の試験及調査		四		四	三三一
計		三八		一六〇	五、一六一

本試験は、當地方に分布する火山灰地に對し、各種作物の適否、耕種肥培、管理等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の氣候は五月中旬以降稍低溫に經過し、殊に六月中旬に於て三回に互り晩霜に遭遇し概して不順なりしも、爾後遽に晴天高溫を持續するに至り稍乾燥に失したり。七月中旬寡照過濕の天候持續せしも、其の後は概して平順なりき。天候前述の如かりしを以て早害を蒙りたる夏收作物は孰れも減收を示し、秋收作物は概ね平年に比し稍増收を示せるも、大豆は大豆莢蠹蟲の被害多き爲品質及收量劣るを示したり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麦、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、飼料用玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種、春播菜種、瑞典蕪菁）
  - 二 品種選抜試験（水稻、陸稻、秋播小麥、春播小麥、燕麥、蕎麥、大豆、間作大豆、小豆、菜豆、馬鈴薯）
  - 三 適否試験（高粱、除蟲菊、蓖麻、ミブヨモギ）
  - 四 水稻苗仕立法に關する試験
  - 五 大豆間作法に關する試験
  - 六 秋播菜種播種期節試験
  - 七 採種用黄花ルービン播種期節試験
  - 八 附近農家重要作物栽培法並に收量に關する調査
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 燕麥品種選抜試験

燕麥品種の收量及品質を比較し當地方火山灰地に適する良品種を選抜せんが爲、「ビクトリー一號」他四品種に就き行ひたるに、「ビクトリー一號」は收量、品質共に最も優り、「草燕麥一號」は收量前者に匹敵するも品質は稍劣り、又「早生燕麥一號」は早生種の内收量、品質共に優良なるを認めたり。

二 採種用黄花ルービン播種期節試験

採種用黄花ルービンの播種期と採種量との關係を知らんが爲行ひたるに、四月中、下旬を播種適期とし、之より晚播するに隨ひ子實收量遞減し、且未熟粒の混入多き爲品質の低下を來し、殊に六月に入り播種するときは成熟せざるを認めたり。

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類數	區數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一		一二	三三 <small>平方米</small>

本試験は、當地方火山灰地に於ける甜菜の優良品種の選擇に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

一 品種調査

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類數	區數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		六		五一	九九二 <small>平方米</small>
耕種に關する試験及調査		七		一五〇	二、一三二
肥料に關する試験及調査		二		四五	一八〇 四〇五
其他の試験及調査		三		一四	二二一
委託試験		一		一一	三六四
計		一九		二七一	三、八八四 一、二〇四



本試験は、當地方火山灰地に於ける各種飼料作物の優良品種の選擇及適否、耕種肥培、管理等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種試験（飼料用玉蜀黍、稗、飼料用ビート、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔）
- 二 チモシー、赤クローバー混播量に關する試験
- 三 ライ麥青刈に關する試験
- 四 裸麥跡地に於ける飼料用蕪菁播種期節節試験
- 五 覆土の深淺及鎮壓の有無が發芽率に及ぼす影響に關する試験（飼料用ビート、飼料用蕪菁、チモシー、オーチャードグラス）
- 六 牧草播種期節節試験（チモシー、赤クローバー）
- 七 牧草播種量試験（チモシー、赤クローバー）
- 八 赤クローバー採種に關する試験
- 九 飼料作物對石灰用量試験（赤クローバー）
- 一〇 牧草三要素試験（チモシー、赤クローバー）
- 一一 適否試験（ケール、甘藍、青刈作物）
- 一二 委託試験
- イ ルーサン増殖に關する試験（洞爺村）

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 裸麥跡地に於ける飼料用蕪菁播種期節節試験  
 當地方火山灰地に於て、裸麥跡作として飼料用蕪菁の播種適期を知らんが爲行ひたるに、播種期晚るるに隨ひ收量遞減し、就中八月中旬以後に播種せるものは著しく收量低下するを以て、裸麥等の如き早期夏收作物跡地に於ける飼料用蕪菁の播種

期は七月下旬乃至八月月上旬迄を適當とするを認めたり。

### 四 園藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一		九		三三二
耕種に關する試験及調査		一		六		三三一
肥料に關する試験及調査		一		九		一三九
其の他の試験及調査		九		二八		三八一
計		一二		二八		一、〇八二

本試験は、當地方火山灰地に適する園藝作物の種類及品種の選擇、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 甘藷新系統選抜試験
- 二 甘藷栽培に於ける畦、高畦及株間距離試験
- 三 甘藷對堆肥用量試験
- 四 適否試験（セルリー、花椰菜、薑、ライマビーン、刀豆、落花生、里芋、慈姑、葡萄）

### 五 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

五六

試験及調査の種類	種類	種類数	區数	面積	積
三要素に関する試験及調査		一	一〇		三三一
肥效に関する試験及調査		五	一二〇		七六〇
其の他の試験及調査		一二	一四一		四七〇
計		一八	一七二		三、八一
					四七〇
					七五〇
					四七〇

火山灰地は他の普通質土壌に比し特異の性状を有するを以て、本試験は斯種土壌に對し土地改良、地力の維持増進、肥料の種類等に関する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 亞麻三要素試験
- 二 亞麻肥料肥效比較試験
- 三 トーマス燐肥肥效比較試験（水稻、燕麥）
- 四 綠肥用ルービン間作試験
- 五 燕麥對ステツクストツフカルクフオスファート肥效試験
- 六 地力減耗試験（水稻、燕麥、大豆、馬鈴薯）
- 七 馬鈴薯對堆肥用量試験
- 八 陸稻に對する堆肥用量並に空素用量試験
- 九 馬鈴薯對石灰と地力關係試験

- 一〇 根瘤菌接種試験（ルーサン、黄花ルービン、赤クロバー）
  - 一一 火山灰地土壤水分調査
  - 一二 火山灰地地温に関する調査
  - 一三 火山灰地對植物氣候に関する調査
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 トーマス燐肥肥效比較試験
- 水稻に對しては、トーマス燐肥の肥效最も優り、過燐酸石灰之に亞ぎ、燐酸アルミナ劣るを認めたり。

## 六 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區数	面積	積
病害蟲に関する試験及調査		二	一		一

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に関する試験及調査を行ふを目的とす。

- 本年度施行せる種類左の如し
- 一 地方重要農作物病害蟲に関する調査
  - 二 病害蟲の分布及發生狀況に関する調査（蔬菜及花卉）

五七

## 七 煙草に關する試験及調査

五八

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
耕種に關する試験及調査		一		三		六六
肥料に關する試験及調査		一		五		九九
其他の試験及調査		一		一		八二七
委託試験		一		〇		二九八
計		四		一九		一、二九〇

本試験は、當地方火山灰地に於ける葉煙草の適否、耕種肥培、管理等に關する試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 移植期節試験
- 二 窒素用量試験
- 三 適否試験
- 四 委託試験
  - イ 窒素用量試験（日高試作場、千歳村オリカ）

## 八 農業經營に關する試験及調査

### 一 早來第一經營試験

本試験は、大正十三年の開始に係り、其の目的は既往の試験及調査の成績を綜合して早來地方火山灰地に適する十町歩混同經營法を立案し、普通農家をして實地經營せしめ、漸次改善を加へて地方農家の模範たらしめんとするにあり。而して本年の天候は前半期に於て特異の狀況を示せるも、後半期は概して順調なりしを以て、各作物共概ね良好なる收量を示し、又畜産に於ても豫期の收益を擧げ、之を附近農家のものに比すれば孰れも成績優良なりき。

### 二 早來第二經營試験

本試験は、昭和三年の開始に係り、其の目的は既往の試験及調査の成績に基き五町歩混同經營法を立案し、普通農家をして實地經營せしめ、漸次改善を加へて地方農家の模範たらしめんとするにあり。而して本年の天候前述の如かりしを以て各作物共概して良好なる收量を示し、畜産に於ても大體豫期の收益を擧げ、之を附近農家に比すれば成績稍良好なりき。

### 三 早來第三經營試験

本農場は昭和三年の開始に係り、其の目的は既往の試験及調査の成績に基き五町歩主畜經營を立案し、普通農家をして實地經營せしめ、漸次改善を加へて地方農家の模範たらしめんとするにあり。而して本年は飼料作物の成績良好にして、畜産に於ても豫期の收益を擧げ、之を附近農家に比すれば成績良好なりき。

## 第二 普及事業

### 一 見本作

試験及調査に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

五九

## 二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水稲	六〇〇 <small>疋</small>	大豆	三〇 <small>疋</small>
蜀黍	一〇〇	菜豆	一・五

## 三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

## 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

## 五 參觀人

本年度の參觀人總數は一、〇九一名なり。

## 第三 其の他

### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技手二四回六六日、助手一二回二九日、副手四回二四日なり。

### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送一六三件、接受三二〇件なり。

# 上川支場

## 第一 試験及調査

### 一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一〇		一六		一〇、一〇九
品種改良に関する試験及調査		九		一三六		三、四六八
耕種に関する試験及調査		四		四六		一、〇三五
其の他の試験及調査		三		四六		一五、四九一
計		三二		三、五六九		八七九

本試験は、當地方に於ける主要農作物品種の選擇並に育成、耕種肥培、管理、收穫、乾燥等に関する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の氣候は、五月に入り低温寡照の天候を持續し六月中旬結霜を見たりしも、其の後頗る恢復し、爾來晴天高温の天候を持續し七月中旬及八月中旬に於て稍多濕なりし他は概して順調に經過せり。農期間の氣候前記の如かりしを以て夏收作物は一般に作況良好なりしも、大麥、裸麥及ライ麥は倒伏し、豌豆は七月下旬夜盜蟲の被害ありて稍減收を示

せり。又秋收作物は生育概して良好にして、大豆にダイツクキタマバへ、粟に粟黒種病の発生ありて生育を阻碍せられ減收したる他收量、品質共に良好なりき。水稻は生育概して良好にして稻泥負蟲の被害ありしも防除に努めたる結果大害を見るに至らず收量、品質共に良好なるを得たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶参照試験（水稻、春播小麦、燕麦、大豆、小豆、菜豆、豌豆、马铃薯）
- 二 水稻品種選抜試験
- 三 水稻優良品種特性調査
- 四 水稻品種特性調査
- 五 水稻産地別による品種特性調査
- 六 水稻新品種育成試験
- 七 畑作物品種特性調査（陸稻、大麦、裸麥、秋播小麦、春播小麦、秋播ライ麦、春播ライ麦、燕麦、裸燕麦、玉蜀黍、蕎麥、粟、稗、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種）
- 八 水田耕鋤深淺試験
- 九 水稻挿秧期試験
- 一〇 田作と畑作との輪作試験（水稻、燕麦、玉蜀黍、大豆、根菜類）
- 一一 水稻苗仕立法の適否に關する調査
- 一二 水稻直播播種量調査
- 一三 水稻灌溉法に關する調査
- 一四 水稻灌溉の時期に關する調査
- 一五 水稻耐冷性に關する調査
- 一六 水稻落水期に關する調査

- 一七 水稻多收作に關する調査
  - 一八 水稻生育に關する調査
  - 一九 水稻直播器に關する調査
  - 二〇 種稔熟度に關する調査
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 水稻新品種育成試験

昭和三年「小川糯」を母とし「松本糯」を父として人工交配を行ひ育成せるもの内「上育八六號」は收量品質共に優良なるを以て、新に優良品種に決定「榮糯」と命名し、上川支廳管内の中央部及富良野地方、空知支廳管内主要稻作地帯並に之に準ずる地方に奨励普及を圖ることとせり。

二 水稻灌溉法に關する調査

水稻に對し灌溉法を異にすることにより生育に及ぼす影響を知らんが爲行ひたるに、氣候冷涼なる場合には、水稻の分蘗を抑制して生育の促進を圖る爲、分蘗期間深水灌溉を行ふことも有利なるを認めたり。

二 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面積	積
肥料要素に關する試験及調査			一一		一〇		二一八 <small>平方米</small>
肥效に關する試験及調査			二		四		一九二

其の他の試験及調査  
委託試験

一八

六三  
二〇  
一〇七

一、五七七  
三九七  
二、三八四

六六

本試験は、農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、肥料の種類、肥效、施用量並に施用期等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻三要素試験
  - 二 水稻對石灰窒素、硫酸アンモニア肥效比較試験
  - 三 水稻對トーマス燐肥肥效比較試験
  - 四 氣候状態を異にする本道各地に於ける水稻の三要素成分需要量に關する調査
  - 五 水稻對肥料施用期に關する試験
  - 六 水稻對窒素質肥料配合試験
  - 七 水稻對堆肥施用量試験
  - 八 稻藁施用量に關する調査
  - 九 水田地力に關する調査
  - 一〇 水稻追肥に關する調査
  - 一一 委託試験
    - イ 水稻窒素質肥料配合試験(當麻村)
- 右の内本年度完了し又は一部完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 水稻對石灰窒素、硫酸アンモニア肥效比較試験

水稻に對し窒素質肥料として、石灰窒素と硫酸アンモニアとの肥效を比較せるに、堆肥を併用せざる場合は石灰窒素は硫酸アンモニアよりも肥效劣れるも、併用する場合は石灰窒素優るを認めたり。而して出穂、成熟、品質等は兩者間に大差なきを認めたり。

二 水稻對トーマス燐肥肥效比較試験

水稻に對しては、トーマス燐肥の肥效は過燐酸石灰、燐酸アルミナに比し大差なく、三者殆ど相伯仲するを認めたり。

三 水稻對堆肥施用期に關する試験(水稻對肥料施用期に關する試験の一部)

水稻に對し堆肥の適當なる施用時期を知らんが爲行ひたるに、融雪後土地乾燥せるを見計ひ施用し直に耕鋤するもの並に春季耕鋤前施用のもの相伯仲して優り、前年秋季施用し直に耕鋤するもの之に亞ぎ、三月下旬雪上に堆積し置き耕鋤前撒布施用するもの最も劣るを認めたり。

四 水稻對窒素質肥料配合試験

水稻に對し鯨粕、鱈粕、大豆粕に硫酸アンモニアを配合せる場合の肥效を比較せるに、收量は鯨粕、鱈粕及大豆粕を單用せるものと是等に硫酸アンモニアを配合せるものとの間には大差なきも、收量は孰れも配合せるもの優れり。而して其の配合割合は、三者共に其の施給窒素の二分の一を硫酸アンモニアにて配合するを最も有利と認めたり。

五 當麻村水稻窒素質肥料配合委託試験

埴土試験地に於ては、堆肥を施用せざる場合に於ける窒素質肥料は、硫酸アンモニアのみを施用せるものに比し、其の窒素の三分の一を鱈粕にて代用せるもの收量並に肥料費を差引きたる收量優り、堆肥を併用せる場合には、窒素の三分の二を鱈粕にて代用せるもの優るを認めり。

腐植土試験地に於ては、堆肥を併用せざる場合の窒素質肥料は、硫酸アンモニアのみを施用せるものの收量並に肥料費を差引きたる收量優り、その窒素の三分の一を鱈粕にて代用せるもの相伯仲して之に亞ぎ、堆肥を併用せる場合には、施給窒素の二分の一を鱈粕にて代用配合せるもの收量稍優るも、肥料費を差引きたる收量は硫酸アンモニアのみ施用のもの稍優るを認めたり。

### 三 病害蟲に關する試験及調査

六八

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	数	區	数	面	積
病害蟲に關する試験及調査			三			一	

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲の防除に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 二化性螟蟲に關する調査
- 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査（蔬菜及花卉）

### 四 農業經營に關する試験及調査

#### 一 永山經營試験

本試験は昭和五年開始に係り、其の目的は既往の試験及調査の成績を綜合して、上川支廳管内水田地方に對する乳牛飼養を加味せる合理的水田經營法を知らんとするにありて、上川地方水田耕作に經驗深き農家をして之に當らしめ、經營の進歩に伴ひ改善を加へ漸次理想的經營法の域に達せしめんとするにあり。而して本年の天候は春季以來順調に經過せると經營上特記すべき故障なかりしを以て、豫定の事業を遂行し得て植産並に畜産共に豫期の収入を擧げ、地方當業者に對し、合理的

經營法及適切なる耕種肥培技術の運用とは農業經營上如何に有利なるかを目睹せしめ、啓發せるところ尠からざりき。

#### 二 士別經營試験

本試験は昭和十一年の開始に係り、其の目的は本道北部の氣候比較的冷涼なる地帯に適する田畑兼營の合理的經營法を知らんとするにありて、既往の試験及調査の成績を綜合し、田作の他畑作及養畜を加味せる經營法を實施せしめ、經營の進歩に伴ひ漸次改善を加へ、以て地方農業經營の模範たらしめんとするにあり。而して本年は春季以來天候順調に經過せるを以て、各種作物の生育は概して良好なるを得、植産並に畜産收入共に豫期の収入を擧げ、當地方農業經營啓發上資するところ尠からざりき。

### 第二 普及事業

#### 一 見本作

試験に屬せざる園藝作物、其の他の作物を見本作として栽培し、試験施行上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

#### 二 種苗配付

本年度に於て配付せる種苗の種類及數量左の如し

六九



作物名	配付数	量	作物名	配付数	量
水稲	二	一八八・三 <sup>町</sup>	玉蜀黍	二	二〇〇 <sup>町</sup>
陸稲	二	五・五	黍	一	一〇〇
裸麥	二	三・〇	稗	〇	〇・五
秋播麥	小	一・五	大豆	一	一・五
春播麥	小	二・五	小豆	一	五・六
秋播麥	ラ	五・〇	菜豆	一	一・五
春播麥	ラ	一・〇	豌豆	一	一・〇
燕麥	イ	五・五	秋播菜種	種	四〇

ot

### 三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、品評會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導を行はしめたり。

### 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

### 五 參觀人

本年度の參觀人總數は六、一三〇名なり。

### 第三 其の他

#### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技師三一回一二九日、技手二七回五六日、其の他五回八日なり

#### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送九九七件、接受九一二件なり。

#### 三 用地の整理

水稻試験の増加並に試験の正確を期せんが爲、畦畔の整理、客土、排水溝の浚渫等を行ひたり。

七一

### 三 田圃の整理

### 二 文書等の整理

### 一 田圃の整理

### 三 其の計

### 五 整理人

## 十 勝支場

### 第一 試験及調査

#### 一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面	積
豊凶考照試験		一五		二三		一、一五〇
品種改良に関する試験及調査		二〇		四四九		九、七四五
耕種に関する試験及調査		八		二二六		六、一九九
其の他の試験及調査		五		一四七		一、〇六一
計		四八		九〇〇		一八、一五五

本試験は、當地方に於ける普通作物、特用作物、緑肥作物等各種の作物に就き、品種の選擇竝に育成、耕種肥培、管理、收穫等に関する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の氣候は融雪期遅れ、農期間に於ては五月より六月中旬始迄は氣温低く、同月十一日より十四日迄連日結霜を見るに至り、就中十二日は嚴霜なりき。六月中旬以降は概して高温寡雨多照にして早魃の状態を示したるも、七月に入り降雨を見、同月中旬以降は稍濕潤の天候を持続せり。八月より九月上旬迄は高温

に經過し、降水概して少なく順調なりき。氣候前記の如かりしを以て夏收作物は播種期遅延し、次いで六月中旬に於ける嚴霜の爲秋收作物中玉蜀黍、黍、小豆、菜豆、馬鈴薯等に霜害を認めたり。然るに全期を通じ寡雨多照なりし爲夏收作物及秋收作物中玉蜀黍及甜菜は生育を阻害せられて減收を來せしも、其の他は支障なく孰れも増收を示し概して信憑すべき成績を擧げ得たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻）
- 二 品種選抜試験（水稻、大麥、秋播大麥、秋播小麥、燕麥、玉蜀黍、黍、蕎麥、粟、稗、大豆、菜豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種）
- 三 新品種育成試験（大豆、小豆）
- 四 産地別による水稻品種の特性調査
- 五 單作綠肥作物種類試験
- 六 混作、間作及後作綠肥作物種類試験
- 七 小豆中耕に關する試験
- 八 菜豆有望品種播種期節節試験
- 九 青豌豆支柱に關する調査
- 一〇 豌豆乾燥法に關する調査
- 一一 豌豆秋播に關する調査
- 一二 水稻促成栽培適否に關する調査
- 一三 豌豆間作及後作に關する試験
- 一四 綠肥作物採種試験（コンモンベツチ、サンドベツチ）



- 一五 適否試験（陸稻、菊芋、ミブヨモギ）
- 一六 菽豆類作付順序に關する調査
- 一七 菊芋、馬鈴薯比較調査

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し。

- 一 玉蜀黍品種選抜試験
  - 一五品種を供用し、昭和十一年以來品種選抜試験を行ひたるに、「坂下種」は子實赤黄色なるも收量多く、從來の優良品種「札幌八行」に比し成熟期一週間餘早きを以て、寒冷地方に好適せる優良品種と認めたり。
- 二 粟品種選抜試験
  - 一二品種を供用し、昭和六年以來品種選抜試験を行ひたるに、「猫足」は從來の優良品種「白菜」に比し品質は大差なきも收量優れるを以て注意すべき品種と認めたり。
- 三 稗品種選抜試験
  - 一五品種を供用し昭和八年以來品種選抜試験を行ひたるに、「北滿」は一箇年の成績なるも、成熟期早く且收量最多にして「早生白稗」と共に注意すべき品種と認めたり。
- 四 青豌豆支柱に關する調査
 

青豌豆栽培に際し、各種支柱が收量及品質に及ぼす影響竝に收益に關する調査を行ひたるに、收量及品質はイタドリ、萩ポブラ等の支柱を用ひたるもの優るも、支柱立等に要する諸経費を差引きたる收益は支柱を用ひざりしものより減收なるを示せり。然れども支出額の多くは勞銀にして、農家は概ね自家勞力にてなすべきを以て、是等を考察すれば勞力に餘裕のある場合は萩、ポブラ等適宜支柱を用ふるを有利なりと認めたり。
- 五 豌豆間作及後作に關する試験
 

豌豆の間作及後作に綠肥作物を栽培し、之が鋤込跡地に小豆及菜豆を栽培し肥效試験を行ひたる成績次の如し

イ 綠肥栽培（準備地）

豌豆に赤クローバーの間作は、豌豆成熟期の前後に降雨の續きたる年は莢腐敗し易く稍減収するを見、綠肥作物の收量は間作赤クローバー最も多く、後作の場合は春播菜種、燕麥等優るを認めたり。

ロ 綠肥第一作肥效試験

小豆に於て子實收量の最も多きはコンモンベツチ後作跡にして、赤クローバー間作跡之に亞ぎ、其の他の綠肥跡も無綠肥に比し一割内外の増收を示せり。菜豆に於ては子實の收量は赤クローバー間作跡最も優り、コンモンベツチ後作跡これに亞ぎ、其の他は孰れも減收を示し、菜豆に對しては豈科綠肥の有利なるを認めたり。

ハ 綠肥第二作肥效試験

前年菜豆にて肥效を試みたる跡地に小豆を栽培して第二作の肥效を確めたるに、赤クローバー間作跡、燕麥後作區共に伯仲して増收を示したる外は孰れも殘效なきを認めたり。又前年小豆にて肥效を試みたる跡地に菜豆を栽培せるに、無綠肥に比し孰れも子實の收量減收し、菜豆に對する綠肥第二作の肥效認められざりき。

六 コンモンベツチ採種試験

コンモンベツチの採種栽培に當り、如何なる支柱が適當せるやを知らんとして行ひたるに、萩支柱は一箇年の成績なるも採種量最多にして、其の他は竹支柱最高を示し、桑枝支柱之に亞ぎ、孰れも良法なるを認むるも、是等の支柱を得難き場合は、小麥、ライ麥、或は大麻を混作し支柱代用となすも亦一法なるを認めたり。

七 サンドベツチ採種試験

サンドベツチの採種栽培に當り、如何なる支柱が適當せるやを知らんとして行ひたるに、採種量の最も多きは竹支柱にして、桑枝支柱、イタドリ支柱之に順次せるも、一般に採種量少なく且年により冬枯の虞あるを以て、當地方に於けるサンドベツチの採種は適當せざるを認めたり。

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一		五〇		九六〇
耕種に關する試験及調査		一		一四		三八一
肥料に關する試験及調査		一		四六		四六〇
病害蟲に關する試験及調査		一		一		
其の他の試験及調査		一		一〇		
計		五		一〇		一、八〇一

本試験は、當地方に於ける甜菜品種の選擇、耕種肥培並に病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種調査
- 二 中耕に關する試験
- 三 綠肥跡地に於ける磷酸及加里適量査定試験
- 四 生育調査
- 五 夜盜蛾豫察調査

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
品種改良に関する試験及調査		七		三二六		四、九六六
耕種に関する試験及調査		七		六七		三、五〇一
肥料に関する試験及調査		二		一二		七八〇
計		一六		四〇五		九、二四七

本試験は、當地方に於ける飼料作物に就き、品種の選擇、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 飼料用根菜類品種選抜試験（飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用胡蘿蔔、飼料用蕪菁）
- 二 牧草種類試験（禾本科牧草、荳科牧草）
- 三 飼料用玉蜀黍品種試験
- 四 青刈用稗、粟、黍、イタリアンライグラス比較試験
- 五 飼料用葉菜類種類試験
- 六 青刈作物適否試験
- 七 牧草見本作
- 八 メリロット及秋播ライ麥播種期調査
- 九 飼料用玉蜀黍播種期試験
- 一〇 チモシー及赤クローバー混播量に關する調査
- 一一 飼料用玉蜀黍收穫適期に關する調査
- 一二 牧草收穫期試験
- 一三 アルサイククローバー刈取期調査

- 一四 乾燥に關する調査（青刈大豆、赤クローバー）
- 一五 肥料三要素試験（牧草、飼料用根菜類）
- 一六 綠肥の増収率調査

### 四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	区	数	面	積
肥效に關する試験及調査		一		一七		一五五
其の他の試験及調査		一		二八		四七六
委託試験		一		一三五		二、二五〇
計		三		一八〇		二、八八一

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、肥料の種類、肥效並に施用法等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

- 本年度施行せる種類左の如し
- 一 菽豆類對加里質肥料肥效試験
  - 二 亞麻肥料試験
  - 三 委託試験
  - イ 三要素に關する試験（幕別村）

## 五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲防除に關する試験及調査		三		五二九		二、二九六
其の他の試験及調査		一〇七		五二九		二、二九六
計						二、二九六

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 小麦萎縮病と小麦品種との關係試験
- 二 燕麥品種と燕麥冠狀銹病との關係調査
- 三 馬鈴薯疫病對粉劑效果試験
- 四 マメホソグチザウムシに關する調査
- 五 キタバコガ對毒劑撒布に關する調査
- 六 キタバコガ土中越冬と周期的發生調査
- 七 秋耕によるシロモンヤガ幼蟲防除調査
- 八 二化性螟蟲に關する調査
- 九 地方重要農作物病害蟲に關する調査

一〇 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査（蔬菜及花卉）  
右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 秋耕によるシロモンヤガ幼蟲防除調査  
芽室村沖積土に於て調査せる成績に據れば、早春シロモンヤガ幼蟲の被害多き沖積土に於ては、秋耕は本蟲の越冬頭數を著しく減ずるを以て、防除法として效果あるを認めたり。

## 六 農業經營に關する試験及調査

一 上土幌經營試験

本試験は、昭和十年の開始に係り、十勝國に於ける北方國境山脈の影響を蒙りて氣候冷涼なる高原地帯に適する農業經營法を知らんとするにありて、既往に於ける試験及調査の成績を綜合して立案せる食糧及飼料の自給を基調とし、畑二〇町歩に綿羊、乳牛を飼養する混同農業經營法を地方普通勞力を有する農家をして實施せしめたり。

## 第二 普及事業

### 一 種苗配付

本年度に於て配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付数量	種類名	配付数量
水稲	三五・一六八	粟	〇・五六三
陸稲	〇・二五九	蕎麥	六七・〇七六
大陸麥	三・九四〇	大豆	一二三・二五〇
裸麥	五・四八〇	小豆	一三二・四〇一
秋播麥	三五・二九八	豌豆	一七七・一八四
春播麥	九・六五六	菜豆	四三・四三六
秋播小麥	一六・七五五	薯蕷	七一・二五〇
春播小麥	〇・一七三	麻	一・三二〇
燕麥	二〇三・五八八	亞麻	一一・三八五
玉蜀黍	二一・一八〇	春播菜種	〇・〇七一
黍	二・一五三	牧草	一・三五〇
稗	〇・一五八	綠肥	二七・八〇〇

### 二 農事指導

講習講話會、研究會、協議會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

### 三 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

### 四 參觀人

本年度の參觀人總數は二、六三二名なり。

### 第三 其の他

#### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技師五四回一五一日、屬一〇回一七日、技手八〇回一五九日、助手一四回三八日なり。

#### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送一九五件、接受四三六件なり。

# 幸震高丘地試験地

## 第一 試験及調査

### 一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一一		四七		九三六
品種改良に関する試験及調査		一一		二一五		八、七六〇
耕種に関する試験及調査		二		五八		三六六
其他の試験		四		三三		二三一
計		二八		四三六		一一、二〇六

本試験は、當地方に於ける普通作物、特用作物、綠肥作物等各種の作物に就き、品種の選擇竝に育成、耕種肥培、管理等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の氣候は五月末迄は概して適順なりしも、六月に入り屢強風あり、降水少なく乾燥に失し、加ふるに同月中旬より氣溫の低下著しく微霜を見るに至れり。爾後依然低冷にして且曇雨天多かりしが、七月下旬より恢復し高温多照に經過せり。氣候前記の如かりしを以て夏收作物の麥類、豌豆、亞麻等は生育を阻害せられて



減收を示し、秋收作物は八月以降の氣候適順なりしを以て作況順調に経過するを得たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(裸麥、春播小麥、燕麥、黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻)
- 二 品種選抜試験(春播小麥、玉蜀黍、黍、粟、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、亞麻)
- 三 綠肥作物種類試験
- 四 荳科作物連作に關する調査
- 五 春播作物の秋季播種に關する調査(裸麥、春播小麥、春播ライ麥、燕麥、黍、稗、大豆、小豆、菜豆、豌豆、甜菜、亞麻)
- 六 綠肥作物肥效試験
- 七 適否に關する試験(陸稻、荏、ミブヨモギ)

### 二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
品種改良に關する試験及調査			一		一		三八五
肥料に關する試験及調査			一		一		二四〇
病害蟲に關する試験及調査			二		二		四三〇
其他の試験及調査			一		一		一六五
計			五		六〇		一、二二〇

一、二二〇

本試験は、當地方に於ける甜菜栽培に關する各般の試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種調査
- 二 甜菜葉頸部跡地に於ける三要素試験(玉蜀黍)
- 三 夜盜蟻豫察調査
- 四 甜菜立枯病防除調査
- 五 多收穫調査

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 甜菜葉頸部跡地に於ける三要素試験
- 甜菜葉頸部跡地に於て、玉蜀黍に對し三要素試験を行ひたるに、甜菜葉頸部は三要素共肥效あるも、特に加里及窒素の肥效顯著なるを認めたり。

### 三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
品種改良に關する試験及調査			六		一三		二二〇

八七

耕種に關する試験及調査	一	二	六	一、五八六
肥料に關する試験及調査	一	一	七	七七
其の他の試験及調査	一〇	二	一〇	一〇〇
計	一〇	二	一〇	一、九八三

本試験は、當地方に於ける飼料作物に就き品種の選擇、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 飼料作物種類試験(春播ライ麥、燕麥、黍、粟、稗、イタリアンライグラス)
- 二 チモン播種期試験
- 三 瑞典燕菁畦幅對株間距離調査
- 四 チモン三要素試験
- 五 ルーサン適否試験

### 四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	區數	面積	積
三要素に關する試験及調査	一	八	四五	五七三
三要素適量に關する試験及調査	一	八	八四	六二四
肥效に關する試験及調査	一	八	三六	三九六

其の他の試験及調査	一	二	一七	三〇三
計	一	四	一八二	一、八九六

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類、肥效及施用法等に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 三要素試験(黍、稗、粟)
- 二 窒素、磷酸用量試験(燕麥、大豆、小豆、菜豆)
- 三 加里用量試験(燕麥、黍、稗、粟)
- 四 燕麥對トーマス磷酸肥效比較試験
- 五 燕麥對地力増進效果試験
- 六 亞麻對堆肥用量試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 燕麥、大豆、小豆及菜豆對窒素、磷酸用量試験  
燕麥、大豆、小豆及菜豆に就き窒素及磷酸の適量を知らんが爲行ひたるに、燕麥及小豆は窒素、磷酸共に其の施用量によりて收量並に收益大にして、大豆は磷酸による増收率は亦なるも窒素は比較的少なく、菜豆にありては窒素、磷酸共に其の増收率低きを示せり。而して各作物に對する要素の施用量は加里相當三〇疋施用する場合、磷酸は相當四五疋を適當とするも、窒素は燕麥は三七疋内外、大豆及菜豆は七・五疋内外、小豆は三・八疋以下を適當と認めたり。
- 二 燕麥對トーマス磷酸肥效試験  
燕麥に對しては、トーマス磷酸の肥效は過磷酸石灰に及ばざるも、磷酸アルミナに優るを認めたり。

## 五 十勝高丘地地力増進に関する試験及調査

九〇

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
十勝高丘地地力増進に関する調査		三七		一三〇		六二八 <small>平方米</small>

本試験は、高丘地の地力増進に関する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 甜菜高畦栽培に関する調査
- 二 中耕に関する調査(小豆、甜菜)
- 三 深耕調査(燕麥、大豆、甜菜)
- 四 沖積土と高丘地との作物養分吸収量相違に関する調査(燕麥、大豆、甜菜)
- 五 客土調査(燕麥、大豆、甜菜)
- 六 心土肥培調査(燕麥、大豆、甜菜)
- 七 焼土調査(燕麥、大豆、甜菜)
- 八 活性礬土の土地生産力に及ぼす影響査定調査(燕麥、大豆、甜菜)
- 九 作物根の分布状態に関する調査(燕麥、玉蜀黍、大豆、甜菜、赤クローバー)
- 一〇 荳科作物根瘤菌接種調査(大豆、小豆、菜豆、豌豆、綠肥用大豆、クローバー類、ベツチ類)

## 六 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲に関する試験及調査		三		二七		一三三 <small>平方米</small>

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に関する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 二化性螟蟲に関する調査
- 二 キタバコガ發生期調査
- 三 キタバコガの土中越冬と周期的發生調査

## 七 農業經營に関する試験及調査

### 一 幸震經營試験

本試験は昭和三年の開始に係り、從來の試験及調査の成績に基き、十勝國高丘地に於ける混同農業經營法を立案し、農家をして實地經營せしめ、漸次改善を加へ模範的經營法を知らんとするにありて、本年度は一七町歩の經營を行ひたり。

## 第二 普及事業

### 一 見本作

試験及調査に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

九二

## 二 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

## 三 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

## 四 參觀人

本年の參觀人總數は一、五二二名なり。

## 第三 其の他

### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技手九回三〇日、助手三回三日、副手四回五日なり。

## 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送四五件、接受一六八件なり。

# 北見支場

## 第一 試験及調査

### 一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の大要左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一六		三六		三、五〇三
品種改良に関する試験及調査		八		一四三		二、八三八
耕種に関する試験及調査		八		一八七		一、六三一
其の他の試験及調査		五		二		三〇
計		三七		三六八		八、〇〇二

本試験は、當地方に於ける普通作物、特用作物、綠肥作物等各種の作物に就き、品種の選擇並に育成、耕種肥培、管理、收穫、乾燥等に関する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年農期間の氣候は五月上旬曇雨天持續し、爾後の天候依然低冷多濕なりき。然るに六月中旬より天候恢復を見、概して高温に經過せるも、降雨少なく乾燥に失したり。随つて各作物は播種遅延し、加ふるに生育中旱害を蒙りたるを以て、夏收作物の麥類、豌豆及亞麻は減收を示し、秋收作物中水稻は作況良

好なりしも、大豆、菜豆、馬鈴薯、甜菜、薄荷等は多少減收を來せり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(水稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種、薄荷)
  - 二 品種選抜試験(水稻、陸稻、秋播小麥、蕎麥、菜豆、亞麻、秋播菜種、薄荷)
  - 三 水稻苗仕立法適否調査
  - 四 水稻溫床苗代覆土調査
  - 五 水稻溫床苗代栽植密度試験
  - 六 水稻發芽促進調査
  - 七 水稻溫床、冷床苗代播種期對移植期試驗
  - 八 陸稻播種期節試驗
  - 九 豌豆秋播に關する試驗
  - 一〇 薄荷移植距離試験
  - 一一 適否試験(高粱、ミブヨモギ)
  - 一二 薄荷生育調査
  - 一三 薄荷取卸器具に關する調査
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 薄荷品種選抜試験  
 俱知安地方より取寄せたる「北支第二〇三八號」は、生育旺盛にして取卸油量及腦量共に多く且栽培容易なるを以て、新に優良品種に決定し「北進」と命名し、増殖普及を圖ることとせり。
  - 二 水稻溫床苗代覆土調査

水稻の溫床苗代に於ける適當なる覆土の深さを知らんが爲行ひたるに、覆土の深さは川砂を用ふる場合は一糎乃至二糎程度、砂壤土を用ふる場合は一糎程度を適當とするを認めたり。

三 水稻溫床、冷床苗代播種期對移植期試驗  
 水稻の溫床、冷床苗代に於ける播種及移植の適期を知らんが爲行ひたるに、溫床栽培の播種期は四月二十日頃より同月三十日頃迄を、又移植期は五月二十五日より六月四日頃迄を適期とし、苗代期間は早播せる場合は三五日、然らざる場合は三〇日内外を可とするを認めたり。冷床の場合は播種期は四月二十日頃より五月五日頃迄を、移植期は五月二十五日より六月十日頃迄を適期とし、苗代期間は早播せる場合は四〇日、然らざる場合は三五日内外を良好と認めたり。而して冷床苗代栽培は溫床苗代栽培に比し、孰れの場合も其の減收著しきを示せり。

## 二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類數	區數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一	二	一、三五〇	
耕種に關する試験及調査		一	一	三五三	
土壤肥料に關する試験及調査		四	四	二、九一〇	
病害蟲に關する試験及調査		一	一	一、二〇〇	
其他の試験及調査		一	一	五、八一三	
委託試験		九	五		
計		一	九		

本試験は、當地方に於ける甜菜栽培に關する各般の試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種調査
- 二 秋播甜菜採種調査
- 三 綠肥跡地甜菜肥料用量試験
- 四 黃花ルービン跡地甜菜肥料配合試験
- 五 綠肥肥效比較試験
- 六 會社配給肥料確認試験
- 七 夜盜蟲豫察調査
- 八 生育調査
- 九 委託試験
  - イ 耕土改良試験(紋別町)

### 三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		七		一五四		二、八八五 <small>平方米</small>
耕種に關する試験及調査		九		八五		一、五一四 <small>平方米</small>

肥料に關する試験及調査  
其の他の試験及調査

計	三	三〇		二八八		三九三 <small>平方米</small>
	二	一九				三八三
	二					五、一七五

本試験は、當地方に於ける飼料作物に就き品種の選擇、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(飼料用玉蜀黍、飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔)
- 二 牧草種類試験(禾本科、荳科)
- 三 播種期節試験(飼料用玉蜀黍、チモシー、赤クローバー)
- 四 牧草播種量試験(チモシー、赤クローバー)
- 五 收穫期試験(飼料用玉蜀黍、チモシー、赤クローバー)
- 六 赤クローバー採種試験
- 七 三要素試験(飼料用玉蜀黍、チモシー、赤クローバー)
- 八 適否試験(飼料用葉菜類、青刈作物)

### 四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素適量に關する試験及調査		三		六〇		一、二一五 <small>平方米</small>

肥效に關する試験及調査	二	二二	一〇五
其の他の試験及調査	一五	七八	七二〇
委託試験	一一	九	二、二七〇
計	一一	一四九	四、二一〇

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類、肥效及施用法等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻温床苗代對三要素適量查定試験
- 二 水稻温床苗代對窒素質肥料肥效比較試験及適量查定試験
- 三 燕麥三要素適量查定試験
- 四 薄荷對刺戟性肥料肥效比較試験
- 五 薄荷對石灰窒素肥效比較試験
- 六 肥料三要素と小麦蛋白質との關係試験
- 七 水稻の肥料三要素成分需要量に關する試験
- 八 薄荷土性別試験
- 九 薄荷對堆肥施用法試験
- 一〇 薄荷對酸度抵抗性試験
- 一一 委託試験
- イ 火山灰地力増進試験(斜里村)

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 水稻温床苗代對窒素質肥料肥效比較試験及適量查定試験  
水稻温床苗代に於ける窒素質肥料としては、硫酸アンモニアは智利硝石に比し肥效優るを示し、その適量は坪當五〇匁内外なるを認めたり。
- 二 燕麥三要素適量查定試験  
燕麥に對する窒素用量は陌當三〇匁内外を適量とするを認めたり。

### 五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類數	區	數	面積	積
病害蟲に關する試験及調査		五		一		一

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 秋播小麦播種期節と種蠅との關係調査
- 二 薄荷病害蟲に關する調査
- 三 二化性螟蟲に關する調査
- 四 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 五 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(蔬菜及花卉)



### 六 農業經營に關する試驗及調査

#### 一 野付牛經營試驗

本試驗は昭和四年の開始に係り、當地方水田經營の適切なる規模及組織を知らんとするにあり。而して本年の氣候は六月中旬以降高温多照に經過せる爲水稻は作況良好にして従來見ざる反當收量を示し、畜産にありても乳牛の飼養により經營狀態著しく良好にして、經營の合理化を如實に示し、地方農家を裨益する處尠からざりき。

#### 二 上斜里經營試驗

本試驗は昭和五年の開始に係り、當地方火山灰地帯に對する適切なる經營法を案出せんとするにあり。而して本年の氣候は乾燥に失せる爲、豌豆、甜菜等は作況良好ならざりしも、其の他は概して增收を示し、加ふるに家畜の飼養により合理的經營の如何に有利なるかを目堵せしめ、地方農家を裨益するところ多かりき。

### 第二 普及事業

#### 一 見本作

試驗及調査に屬せざる果樹、蔬菜、花卉、其の他の作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

#### 二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水陸稻	二・五〇	蕎麥	〇・三〇
大陸稻	一・二・八五	大豆	二・三九・六五
裸麥	〇・二〇	小豆	一・六五
秋播麥	一・六五	豌豆	〇・三〇
春播麥	一〇・四五	豆	五・五八・四〇
燕麥	一・六五	麻	〇・一〇
	一・二・八	荷	一・四〇・六二・五〇

### 三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

### 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

## 五 參觀人

本年度の參觀人總數は二、七〇五名なり。

## 第三 其の他

### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技師三三回九一日、屬三回一三日、技手五〇回一三六日、助手七回一九日なり。

## 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送一、一六二件、接受一、四二〇件なり。

# 渡島支場

## 第一 試験及調査

### 一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類數	區數	面積
豊 凶 考 照 試 験		九	一九	一、七五〇 <small>平方米</small>
品 種 改 良 に 關 する 試 験 及 調 査		一三	一、二〇九	一六、八七六
耕 種 に 關 する 試 験 及 調 査		三	二、二一五	一、一〇九
其 の 他 の 試 験 及 調 査		一	八七	二、〇八七
委 託 試 験		一	一九〇	九八、五〇〇
計		二七	三、七二〇	一二〇、三二二

本試験は、當地方に於ける普通作物、其の他各種の作物に就き、品種の選擇竝に育成、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の天候は融雪期遅れ、五月中旬より不順に經過し、六月中旬初め結霜溫度に近き異常を呈したり。爾後恢復し高温多照に向ひ六月下旬早くも盛夏の候を思はしめ、久しく降水を見ざる爲當時早魃の微ありき。然るに七

月中旬雨濕あり、依然として高温を持續し近年稀なる高温を示したり。九月に入りてより屢暴風或は豪雨ありたるも、中秋よりは平穩なる氣候を示したり。氣候前記の如かりしを以て夏收作物麥類等は旱害の爲分蘖少なく多少減收を見たるものあり、又秋收作物に於ても馬鈴薯及玉蜀黍は一時旱害の兆候を呈したりしも、其の他は支障なく作況良好なりき。只水稻の晩熟種は九月中、下旬の暴風、豪雨の爲品質を損せるものありしを遺憾とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(水稻、秋播小麦、春播小麦、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、馬鈴薯、甜菜)
- 二 品種選抜試験(水稻、陸稻、秋播大麥、秋播小麦、春播小麦、蕎麥、馬鈴薯)
- 三 馬鈴薯品種豫備試験
- 四 品種特性調査(水稻、大豆、馬鈴薯)
- 五 産地別による水稻品種の特性比較調査
- 六 水稻新品種育成試験
- 七 陸稻播種期節試験
- 八 燕麥秋播に關する試験
- 九 水稻苗仕立法に關する調査
- 一〇 水稻多收作調査
- 一一 委託試験

イ 鹿部村火山灰地試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 水稻新品種育成試験の一部
- 昭和二年上川支場に於て「龜ノ尾」を母とし「坊主六號」を父として人工交配を行ひ、昭和五年以降渡島支場に於て選抜育成せるもの内「渡育三七號」及「渡育三〇號」は孰れも稈稈強靱にして稻熱病の被害少なく、且品質、收量良好なるを

以て、前者を「玉光」、後者を「渡島錦」と命名し、本道南部地方に於て、特に氣候溫暖なる地帯の栽培に適する限定優良品種に決定し、栽培普及を圖ることとせり。

### 二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
品種改良に關する試験及調査		二			一四		四、三二二 平方米

本試験は、當地方に於ける甜菜の適品種選擇に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種調査

### 三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要の左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
品種改良に關する試験及調査		六			一一五		四、一四〇 平方米

耕種に關する試験及調査				
土壤肥料に關する試験及調査				
其の他の試験及調査				
計	一五	四	一四	六八
	二二	六	二四	五三
	一九			四六
	二六			七〇
				八

本試験は、當地方に於ける飼料作物に就き、品種の選擇、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験（飼料用玉蜀黍、パージニヤピン、飼料用ビート、飼料用燕青、飼料用胡蘿蔔、禾本科牧草）
- 二 採種用玉蜀黍畦幅對株間距離試験（飼料用玉蜀黍）
- 三 玉蜀黍培土に關する試験
- 四 禾本科牧草播種期試験
- 五 禾本科牧草收穫期試験
- 六 適否試験（ケール、甘藍、青刈作物）
- 七 飼料用玉蜀黍種子複種に關する調査（白色種、黄色種）
- 八 三要素試験（飼料用玉蜀黍、禾本科牧草）

### 四 園藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	區數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一六	一六〇	五、五六二
耕種に關する試験及調査		四	四一	九七九
其の他の試験及調査		七	一七	一六五
計		二八	二〇八	六、七〇六

本試験は、當地方に於ける蔬菜及果樹の適否、耕種肥培等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

### イ 蔬菜に關する試験及調査

- 一 品種選抜試験（玉蜀黍、茄、蕃茄、里芋、枝豆）
- 二 胡瓜不時栽培法に關する試験
- 三 播種期節試験（玉蜀黍、枝豆）
- 四 甘藷適否試験

### ロ 果樹に關する試験及調査

- 一 品種選抜試験（苹果、和梨、洋梨、櫻桃、葡萄）
- 二 品種特性調査（和梨、洋梨、櫻桃、葡萄、桃、李、栗）
- 三 苹果袋掛の時期に關する試験

- 四 葡萄熟期に関する調査
- 五 胡桃に関する調査
- 六 野生葡萄に関する調査
- 七 果樹作況調査(苹果、和梨、洋梨、葡萄)

### 五 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
三要素に関する試験及調査				一		六〇〇
肥效に関する試験及調査				一		一、〇六二
其の他の試験及調査				一		
計			三	三		一、六六二

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥料の種類、施用量及施用法等に関する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻の肥料三要素成分需要量に関する試験
- 二 水稻對トーマス燐肥肥效比較試験
- 三 水稻對石灰窒素、硫酸アンモニア配合試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 水稻對トーマス燐肥肥效比較試験  
水稻に對しては、トーマス燐肥の肥效は過燐酸石灰、燐酸アルミナに比し大差なく、三者殆ど相伯仲するを認めたり。
- 二 水稻對石灰窒素、硫酸アンモニア配合試験  
水稻に對し、石灰窒素と硫酸アンモニアの適當なる配合量を知らんが爲行ひたるに、堆肥を併用する場合、併用せざる場合共に石灰窒素を單用せるものは收量並に收益優るを示し、兩者を配合せるものは孰れの場合も劣るを以て、當地方に於ける水稻無機質の窒素質肥料としては、石灰窒素と硫酸アンモニアとの配合は有利ならざるを認めたり。

### 六 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
病害蟲防除に関する試験及調査				一		二八〇
其の他の試験及調査				三		
計			四	四		二八〇

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に関する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年施行せる種類左の如し

- 一 ボルドウ合劑殺蟲劑混用試験
- 二 二化性螟蟲に関する調査

- 三 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 四 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査（蔬菜及花卉）

### 七 農業經營に關する試験及調査

#### 一 長萬部經營試験

本試験は昭和九年の開始に係り、各試験機關の既往に於ける試験及調査の成績を綜合し、噴火灣に面せる渡島國茅部郡（森町地方を除く）、膽振國山越郡及虻田郡の一部の如き夏季東偏風の吹來に伴ふ冷濕なる氣候の影響著しき地帯並に類似の氣候状態の地帯に對する適當なる主畜農業經營法を知らんが爲、普通農家をして畑二〇町歩に乳牛飼養を主とする經營を實施せしめ、經營の進捗に伴ひ漸次改善を加へ、地方農業經營の模範たらしめんとするにあり。而して本年農期間の氣候は融雪平年に大差なかりしも、六月中旬より七月に亘りて屢烈風の襲來あり、又一時低溫の襲來、早魃等ありしが、各作物共作況順調にして麥類は平年と大差なき收量なりしも品質は概して良好、又秋收作物は作況平年に比し優るを示し、一方畜産の收支も略順調に進捗し、植産、畜産共に豫期の收入を擧げ、地方當業者に對し合理的經營法及適切なる耕種肥培、技術運用とは農業經營上如何なる効果を齎らすかを目標せしめ、啓發せるところ尠からざりき。

### 第二 普及事業

#### 一 見本作

試験及調査に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

### 二 種苗配付

本年度に於て配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水玉蜀黍	二九、四〇〇 <small>担</small>	小豆	二、五九三 <small>担</small>
大豆	一、二〇〇	馬鈴薯	三八六・二五〇
	四・三六一	秋播菜種	〇・六〇〇

### 三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

### 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

### 五 參觀人

本年度の參觀人總數は六、八二二名なり。

### 第三 其の他

#### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技師三四回一〇日、技手三〇回六〇日、其の他一七回三三日なり。

#### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送一、一八三件、接受九七九件なり。

#### 三 用地の整理

試験用地の一部に土地改良並に整地を施行し、試験の正確を圖りたり。

## 根室支場

### 第一 試験及調査

#### 一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類數	區數	面積	積
豊凶考照試験		二二		四四	一、七六〇 <small>平方米</small>
品種改良に關する試験及調査		一〇		一四四	二、二四八
耕種に關する試験及調査		一		四	一、一六五
其の他の試験及調査		四四		一〇二	四、六〇〇
計		七七		二七四	五、六三三

本試験は、當地方の風土に對する各種農作物の適否、耕種法、管理、收穫等に關する試験及調査を行ふを目的とす。而して本年の氣候は融雪後五月末迄は低温寡照にして、六月に入り恢復し適順となりしも、七月に入り天候再び惡變し冷濕なる天候を持続せり。八月以降は比較的高温なりしも依然多濕に經過せり。氣候前記の如かりしを以て夏收作物は孰れも登熟を阻碍せられて減收を來し、秋收作物は特記すべき故障を認めず且初霜遅かりし爲概して作況良好なるを得たり。而して本年

は早春瑞典蕪菁にキスチノミハムシ、七月初旬コガネムシ幼蟲、七月及十月の二回に互り夜盜蟲の加害ありしも、孰れも防除の結果大なる被害なかりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶参照試験（水稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、黍、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、春播菜種、蠶豆、瑞典蕪菁、飼料用ビート、飼料用玉蜀黍、飼料用胡蘿蔔）
- 二 品種選抜試験（秋播大麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、蕎麥、大豆、菜豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種）
- 三 採種用黃花ルービン播種期節節試験
- 四 菊芋、馬鈴薯比較試験
- 五 馬鈴薯連作調査
- 六 秋播小麥多收穫調査
- 七 適否に關する調査（水稻、玉蜀黍、ミブヨモギ、蔬菜、果樹）

### 二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一		三四		一、〇二〇 <small>平方米</small>
耕種に關する試験及調査		四		四三		一、二八〇
肥料に關する試験及調査		五		二六		四四〇

計

一〇

一〇三

二、七四〇

本試験は、當地方に於ける甜菜栽培に關する各種の試験及調査を行ふを目的とす。本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種調査
- 二 耕鋤深淺に關する試験
- 三 高畦耕作法に關する試験
- 四 堆肥鋤込時期試験
- 五 催芽播法に關する調査
- 六 甜菜根の分岐と堆肥用量との關係試験
- 七 耕種、堆肥、深耕、ライムケーキ組合せ試験
- 八 赤クロローパー跡地窒素用量試験
- 九 ライムケーキ施用量試験
- 一〇 黃花ルービン跡地肥料配合試験

### 三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し



試験及調査の種類	種類	数	區	數	面	積
品種改良に關する試験及調査		六		一六五		三、七三〇
耕種に關する試験及調査		九		六九		二、三三〇
肥料に關する試験及調査		五		一〇二		二、〇〇〇
其他の試験及調査		七		五六		二、〇〇〇
計		二七		三九二		一、〇〇六

本試験は當地方に於ける飼料作物栽培に關する各種の試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 牧草種類試験(禾本科、荳科)
- 二 飼料用玉蜀黍品種試験
- 三 飼料用根菜類品種選抜試験(飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用胡蘿蔔)
- 四 青刈作物適否試験(玉蜀黍、稗、大豆)
- 五 飼料用葉菜類適否試験(ケール、甘藍)
- 六 牧草播種期節試験(チモシー、赤クローバー)
- 七 牧草播種量試験(チモシー、赤クローバー)
- 八 牧草收穫期試験(チモシー、赤クローバー)
- 九 赤クローバー播種に關する試験
- 一〇 飼料用玉蜀黍收穫適期に關する試験
- 一一 チモシー、赤クローバー混播量に關する試験
- 一二 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)

#### 四 土地改良に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	數	區	數	面	積
土地改良に關する試験及調査		四		一〇		木 櫃

本試験は、當地方火山灰土壤の土地改良に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 客土に關する調査(蕪菁、菜豆、馬鈴薯、甜菜)

#### 五 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
土壤生産力に關する試験及調査		九		八一		木
肥効に關する試験及調査		五		七二		八五〇 <sup>平方</sup>
計		一四		一五三		一、九八六
其他の試験及調査		二		二六		二、八三六
計		二六		二六七		

本試験は、當地方に於ける農耕地の地力の維持増進を圖らんが爲、土壤の管理、肥効等に關する試験及調査を行ふを目的とす。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 根釧原野各地に於ける土壤生産力調査（燕麥、甜菜、瑞典蕪菁、赤クロローバー、黄花ルービン、ルーサン）
  - 二 試験地各層地力調査（燕麥、菜豆、馬鈴薯）
  - 三 窒素質肥料肥効比較試験（燕麥、馬鈴薯）
  - 四 燕麥對トーマス燐肥肥効比較試験
  - 五 綠肥用黄花ルービン間作試験（燕麥、甜菜）
  - 六 輪作、連作對土壤性狀に關する試験及調査（春播小麥、燕麥、菜豆、馬鈴薯、瑞典蕪菁、赤クロローバー）
  - 七 堆肥用量試験（燕麥、菜豆、馬鈴薯、甜菜）
  - 八 燐酸質化學肥料施用法に關する調査（燕麥、甜菜）
- 右の内本年完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 根室國に於ける火山灰分布調査（根釧原野各地に於ける土壤生産力調査の一部）
  - 二 根室國に於ける火山灰の種類、分布の狀態並に層位關係等を調査し、以て四種の土壤地帯に大別せり。
  - 三 試験地各層地力調査

根室國に分布せる火山灰に就き、根室支場圃場に堆積せる土壤を採取し三要素の天然供給量を査察せるに、各火山灰共燐酸質肥料最も必要にして、窒素質肥料之に亞ぎ、加里質肥料は其の效果大ならざるを認めたり。

三 燕麥對トーマス燐肥肥効比較試験

燕麥に對しては、トーマス燐肥の肥効は過燐酸石灰に及ばざるも、燐酸アルミナに優るを認めたり。

### 六 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲防除に關する試験及調査		三		三七		八四〇 <sup>平方</sup>
其他の試験及調査		七		一		八四〇
計		一〇		三七		八四〇

本試験は、當地方に於ける主要農作物に對する主なる病害蟲に關する試験及調査を行ふを目的とす。

- 一 燕麥冠狀銹病發生と播種期との關係調査
- 二 麥類赤銹病防除に關する調査
- 三 コガネムシ及大根蛆に對する嫌惡性肥料及藥劑に關する試験（甜菜、瑞典蕪菁）
- 四 コガネムシに關する調査
- 五 シホヤアブに關する調査

- 六 二化性螟蟲に關する調査
- 七 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 八 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査(蔬菜及花卉)

### 七 農産加工に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	數	區	數	面	積
							1

本試験は、當地方に於ける主要農作物の加工利用に關する試験及調査を行ふを目的とす。  
本年度施行せる種類左の如し

- 一 瑞典蕪菁冷凍乾燥法に關する調査

### 八 農業經營に關する試験及調査

#### 一 中標津經營試験

本試験は昭和三年の開始に係り、其の目的は既往各試験及調査の成績を綜合して、根釧地方の一般代表地たる火山灰高丘地に於ける畑作農業の適當なる規模、組織及經營法を立案し、之を實地に農家をして經營せしめ、且其の成績向上に伴ひ漸

次改善を加へ、地方農家經營の模範たらしめんとするにあり。而して本年は早春並に七月に於ける不順なる天候により夏收作物は減收を來せしも、秋收作物は支障を認めず、畜産に於ては相當の成績を挙げ、以て地方農家に對し合理的經營法及適切な耕種、肥培の運用は、農業經營上如何に有利なるかを目睹せしめ、啓發するところ尠からざりき。

#### 二 模範作

甜菜増收に關する模範作を行ひたり。

### 第二 普及事業

#### 一 見本作

試験及調査に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。尙養蜂を行ひたり。

#### 二 種苗配付

本年配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類	種類	名	配付	數量	種類	種類	名	配付	數量
六・二〇	秋播	小麥							

黍	稗	玉	燕	秋	春
				播	播
			蜀	ラ	小
				イ	麥
			黍	麥	麥
一八・五〇					
〇・九	〇・四	三・七	六・一	〇・四	〇・四
〇・九	〇・〇	〇・〇	〇・五	〇・五	〇・〇
春	秋	馬	菜	大	蕎
	播				
			鈴		
	菜				
種	種	薯	豆	豆	麥
一九五・〇〇					
四・六	〇・九	一・五	一・五	二・二	五・〇
〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇

### 三 農事指導

講習講話會、共勵會、共進會、協議會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

### 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

### 五 參觀人

本年度の參觀人總數は四八八名なり。

### 第三 其の他

#### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、技師二二回九八日、技手二〇回八八日、雇一回六日、助手四回一〇日、副手四回一〇日なり。

#### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる文書の件數は、發送五九四件、接受三三八件なり。

一 出 入 費  
二 其 他 の 費

# 檜山試作場

## 第一 模 範 作

本事業は、當地方に於ける農作物中農業經營上重要なものを選定し、一農場の縮圖的考案の下に一定輪作式を定めて合理的栽培を行ひ、以て地方農家に耕種肥培法の範を示すと共に、其の收支と生産量の變遷とを調査し、農業經營上の参考に供せり。而して本年は六月中乾燥に過ぎたる天候なりし爲、夏收作物にありては生育を阻碍せられ減收せるものありしも、秋收作物にありては孰れも増收を示せり。而して其の收支は農産物市價の高値を示せる爲、孰れも良結果を收め得たり。之を當地方農家の栽培状態に比するに成績良好にして、一般當業者を啓發するところ尠からざりき。

## 第二 試験及調査

### 一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區	數	面	積
豊凶考照試験	八		一二		四六二 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査	四		五一		一、三八九
耕種に関する試験及調査	二		三三		四九五
其他の試験及調査	二九		五四		一、〇一五
計	四三		一五〇		三、三六一

當地方に於ける本年の氣候は、融雪期は平年に比し早く、雨後の天候は六月中降雨少なく過乾なりしも、七月以降概して順調に経過せり。氣候前記の如かりしを以て夏收作物は早害を蒙り、草丈一般に短く各作物共稍減收を示せり。秋收作物も一時早害を蒙りたりしも、爾後作況良好にして孰れも増收を示せり。而して小麦に赤銹病及赤黴病、燕麥に斑葉病及赤黴病大豆にダイゾクキタマへの被害多かりき。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(水稻、裸麥、秋播小麦、燕麥、玉蜀黍、黍、大豆、馬鈴薯)
  - 二 品種選抜試験(水稻、秋播小麦、大豆、馬鈴薯)
  - 三 水稻苗仕立法に関する試験
  - 四 大豆畦幅對株間距離試験
  - 五 適否試験(陸稻、高粱、ミブヨモギ、蔬菜)
  - 六 水稻多收作調査
  - 七 菊芋收量調査
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 水稻品種選抜試験

水稻品種の特性、收量、品質等を比較し當地方に適する良品種を選抜せんが爲「津輕坊主一號」外九品種に就き行ひたるに、新優良品種「渡島錦」最も優るを認めたり。

## 二 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區	數	面	積
品種改良に関する試験及調査	三		五一		九八三 <small>平方米</small>
耕種に関する試験及調査	一		六		一九八
其他の試験及調査	一		一二		三九六
計	五		六九		一、五七七

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(飼料用玉蜀黍、稗、飼料用大豆)
- 二 飼料用玉蜀黍播種期節試験
- 三 飼料用玉蜀黍種子複種に関する調査

## 三 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素適量に関する試験及調査	一	一		一八	一八〇	一八〇
其の他の試験及調査	二	一		一五	一五〇	一五〇
計				三三	三三〇	三三〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 燕麥對三要素適量查定試験
- 二 菜豆對堆肥用量試験

### 四 病害蟲に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲に関する試験及調査	二			一		一

本年度施行せる種類左の如し

- 一 地方重要農作物病害蟲に関する調査
- 二 病害蟲の分布及發生狀況に関する調査(蔬菜及花卉)

### 第三 普及事業

#### 一 見本作

試験に屬せざる各種農作物を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

#### 二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水稲	一九・八〇	小豆	二・三〇
大豆	〇・六〇	馬鈴薯	一、一二三・二五
大豆	〇・六〇		

以上の外水稻苗五二〇把(試験に使用し残れる優良品種)並に蔬菜苗三五六本を配付せり。

#### 三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

一三三

#### 四 質疑應答

農事上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

#### 五 參觀人

本年度當場參觀人總數は一、四三五名なり。

#### 第四 其の他

#### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手四〇回八八日、助手九回二一日なり。

#### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送五九〇件、接受六〇八件なり。

#### 三 用地の整理

試験用地の土地改良、排水溝の新設及浚渫、防風林の設置等を行ひたり。

一三三



# 俱知安試作場

## 第一 模範作

本事業は、當地方農業經營上重要な作物を選定し、一農場の縮圖的組織經營法により、當場並に本、支場從來の試験成績を基礎とし、合理的栽培を試みたるに、本年の氣候は六月中旬に於て早魃を呈せるを以て、夏收作物は生育一般に劣り、殊に小麥、燕麥、豌豆、亞麻等は減收を見たるも、爾後の天候適順にして、秋季高温持續せるため、秋收作物は孰れも増收を示すに至り、全般に於て附近農家に比すれば著しく良好の結果を收め、合理的耕種肥培の効果顯著なるを示し、地方農家を啓發裨益するところ尠からざりき。

## 第二 試験及調査

### 一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區數	面積	積
豊凶考照試験	一四		二二	一、一〇〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査	九		九〇	二、三四〇
耕種に関する試験及調査	七		二二	六二〇
その他の試験及調査	七		四二	九二〇
計	三七		一七六	四、九八〇

當地方に於ける本年の氣候は、六月中旬迄は低溫にして、同月下旬前後は暴雨乾燥に失したりしも、爾後は概して順調に経過せり。氣候前記の如かりしを以て夏收作物は一般に作況不良にして減收を來せるも、秋收作物は特記すべき支障を認めず孰れも増收を示せり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、春播大麥、裸麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種）
- 二 品種選抜試験（水稻、秋播大麥、秋播小麥、蕎麥、大豆、菜豆、馬鈴薯、亞麻、秋播菜種）
- 三 耕種時期試験（燕麥、大豆、馬鈴薯）
- 四 耕鋤法試験（燕麥、大豆、馬鈴薯）
- 五 水稻苗仕立法に関する調査
- 六 適否試験（高粱、薄荷、苧麻、ミブヨモギ、スキートクローパー、蔬菜、果樹）

## 二 甜菜に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區數	面積	積
三要素に関する試験及調査	一		五	一〇〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 三要素試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 三要素試験

燐酸の肥效最も顯著にして、窒素及加里の肥效之に順次するを認めたり。

## 三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類数	區數	面積	積
品種改良に関する試験及調査	三		二七	五四〇 <small>平方米</small>
耕種に関する試験及調査	一		四	八〇
その他の試験及調査	二		四	八〇
計	六		三五	七〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験（種、飼料用胡蘿蔔、飼料用南瓜）
- 二 ライ麥青刈試験
- 三 適否に關する試験（牧草、飼料用葉菜類）

### 四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	種類	種類	種類	種類
	数	區	數	面	積	
三要素適量に關する試験及調査	一		一三		二六〇	平方米
肥效に關する試験及調査	五		二五		四四二	
其の他の試験及調査	一		一五		二〇〇	
計	一		五三		九〇二	

本年度施行せる種類左の如し

- 一 茶豆對窒素用量に關する試験
- 二 馬鈴薯對赤コロバー跡作肥效試験
- 三 綠肥用黄花ルービン間作試験
- 四 燕麥對トーマス燐肥肥效比較試験
- 五 石灰窒素、硫酸アンモニア肥效比較試験（燕麥、馬鈴薯）
- 六 麥類の間作及跡作綠肥試験

### 七 馬鈴薯窒素質肥料配合試験

### 八 酸性土壤對石灰有效年限查定試験（大豆）

### 九 酸性土壤矯正用セメントダストの效果試験（燕麥、甜菜）

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 石灰窒素、硫酸アンモニア肥效比較試験  
燕麥及馬鈴薯に對し窒素質肥料として石灰窒素と硫酸アンモニアとの肥效を比較せるに、兩作物に對する石灰窒素の肥效は、堆肥併用せるもの、併用せざるもの共に、硫酸アンモニアに比し夫れ夫れ劣るを認めたり。而して石灰窒素は堆肥併用せるときは、併用せざるものに比し優れるも、堆肥を併用せざる場合の硫酸アンモニアよりも劣るを認めたり。
- 二 燕麥對トーマス燐肥肥效比較試験  
燕麥に對しては、トーマス燐肥の肥效は過燐酸石灰に及ばざるも、燐酸アルミナより優るを認めたり。
- 三 馬鈴薯對窒素質肥料配合試験  
馬鈴薯に對し大豆粕及硫酸アンモニアの適當なる配合割合を查定せんが爲行ひたるに施給窒素量の二分の一宛を大豆粕及硫酸アンモニアにて配合せるもの最も優るを認めたり。

### 五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類	種類	種類	種類	
	數	區	數	面	積	
病害蟲防除に關する試験及調査	一		七		三三六	平方米

計	三二	七	一四〇	三三六
---	----	---	-----	-----

本年度施行せる種類左の如し

- 一 菜豆炭疽病防除試験
- 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査 (蔬菜及花卉)

### 第三 普及事業

#### 一 見本作

試験に屬せざる蔬菜類、花卉類、小果樹類を栽培し、事業上の參考に資すると共に參觀者に供覽せり。

#### 二 種苗配付

本年度に於て配付せる種苗の種類左の如し

種類名	配付數量	種類名	配付數量
水稻	二五・八	蕎麥	三五・〇
裸麥	〇・四	大豆	三〇・八
秋播麥	一・八	小豆	八・〇
春播麥	〇・六	豆薯	二七九・五
燕麥	二七・六	馬鈴薯	六〇七・〇
玉蜀黍	一七四・八	秋播菜	〇・六
稗	一・八	赤クローバ	一〇・五

### 三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり

### 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

### 五 參觀人

本年度の参観人總數は七二〇名なり。

一四二

#### 第四 其の他

##### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技師二四回八一日、農林技手五回一三日、助手一〇回二五日、副手二回六日なり。

##### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送一九八件、接受四六二件なり。

##### 三 用地の整理

試験用地の整理を行ひたり。

## 釧路試作場

### 第一 模範經營

本經營は、釧路國沿岸地方の濃霧地帯に於ける主畜農業經營の範を示すと共に、其の調査成績に據り經營法の改善に資せんとするにありて厚岸郡太田村に於て施行せり。本經營は其の面積一五町歩とし、内一〇町歩より農家食糧及家畜飼料を生産し、他の五町歩を採草地、其の他に充當し、濃厚飼料の一部を購入して搾乳頭數を増加せんとするものにして、實際の經營に當らしめたり。而して本年の氣候は、各作物播種當時は氣温低冷不順なりしも發芽に支障なく、六月中旬以降は概して適順に經過せるを以て、各作物共作況順調にして、燕麥及瑞典燕麥の病害發生により稍減收せる他は孰れも増收し、畜産に於ても特記すべき支障なく、附近農家に比し極めて有利なる經營を行ひ得て、地方農家を啓發せるところ尠からざりき。

### 第二 試験及調査

#### 一 種藝に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

一四三

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一五		一六		三四〇 <small>平方米</small>
品種改良に関する試験及調査		一一		一一二		二、〇三一
耕種に関する試験及調査		一		四九		四〇〇
其他の試験及調査		四九		一三〇		一、九三〇
計		七六		三〇七		四、七〇一

當地方に於ける本年の氣候は、融雪後曇雨天多く、五月下旬以降低温寒雨にして、六月中旬に入り再三結霜を見る等變調なる天候を持続せしも、雨後は概して高温多湿に經過せり。随つて夏收作物中麥類は生育を阻害せられて減收を示し、秋收作物は瑞典蕪菁及飼料用胡蘿蔔の作況不良なりしを除き一般に増收を見たり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験(大麦、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、飼料用玉蜀黍、黍、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、馬鈴薯、甜菜、瑞典蕪菁)
- 二 品種選抜試験(燕麥、玉蜀黍、黍、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、荏、馬鈴薯)
- 三 早熟性玉蜀黍品種特性調査
- 四 燕麥播種期節試驗
- 五 菊芋收量調査
- 六 適否試験(大麦、裸麥、春播小麥、春播ライ麥、燕麥、玉蜀黍、黍、稗、粟、蕎麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、亞麻、飼料用玉蜀黍、ミブヨモギ、瑞典蕪菁、飼料用胡蘿蔔、飼料用蕪菁、飼料用ビート、チモシー、赤クロパー、蔬菜、果樹)
- 七 開墾勞力調査

### 八 泥炭植物に関する調査

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

#### 一 玉蜀黍品種選抜試験

六品種を供用し、品種選抜試験を行ひたるに、「坂下種」は子實赤黄色なるも多收にして、成熟期は從來の早熟品種「黄早生」に比すれば大差なきも、「札幌八行」より一週間早きを以て、寒冷地方に好適せる優良品種と認めたり。

## 二 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査		七		一二八		六〇〇 <small>平方米</small>
耕種に関する試験及調査		五		四九		七三五
肥料に関する試験及調査		二		一八		四〇〇
其他の試験及調査		四		四五		二、〇八二
計		一八		二四〇		三、八一七

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(飼料用玉蜀黍、飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔、禾本科牧草、荳科牧草)
- 二 牧草播種期節試驗(チモシー、赤クロパー)
- 三 赤クロパー及アルサイクロパー播種に関する試験

- 四 飼料用玉蜀黍の收穫適期に關する試験
- 五 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)
- 六 飼料用葉菜類適否試験(飼料用葉菜類、青刈作物)
- 七 牧野利用に關する調査
- 八 野草に關する調査

### 三 土地改良に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
土地改良に關する試験及調査		一一		一三一		二、五八〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

- 一 排水溝の深さと距離に關する試験(燕麥、大豆、馬鈴薯、瑞典蕪菁)
  - 二 客入土壤の種類に關する試験(燕麥、大豆、馬鈴薯)
  - 三 酸性矯正に關する試験(燕麥、大豆、馬鈴薯)
  - 四 蕎麥對燒土の回数と程度に關する試験
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 排水溝の深さと距離に關する試験
- 當地方低位泥炭地に對する排水溝の深さ及距離の適度を知らんが爲施行せるに、吸水溝の深さは九〇糎以上とし、距離は

二〇米乃至二五米を以て適當と認めたり。

### 四 土壤肥料に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素に關する試験及調査				八〇		一、三六〇 <small>平方米</small>
其の他の試験及調査				六		一五〇
計		八一七		八六		一、五一〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 新墾地に於ける三要素試験(燕麥、大豆、馬鈴薯)
  - 二 開墾法と三要素に關する試験(燕麥、蕎麥、大豆、馬鈴薯)
  - 三 泥炭堆肥製造法に關する調査
- 右の内本年度を以て完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 新墾地に於ける三要素試験
- 新墾地沖積土壤に於て燕麥、大豆及馬鈴薯に對する天然供給量を知らんが爲施行せるに、磷酸最も缺乏し、窒素之に亞き加里亦相當に缺乏せるを以て、開墾當初より適量の三要素を補給するの要あるを認めたり。

## 五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲に關する試験及調査	三					

本年度施行せる種類左の如し

- 一 ヨタウガ竝にキタバコガ發生期に關する調査
- 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 三 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査 (蔬菜及花卉)

## 第三 普及事業

### 一 見本作

試験及調査に屬せざる蔬菜、小果樹等を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

### 二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

種類名	配付數量	種類		配付數量
		小	大	
黍	二〇〇 <small>疋</small>			三〇〇 <small>疋</small>
蕎麥	五〇			二〇〇 <small>疋</small>
豆				二〇〇 <small>疋</small>

### 三 農事指導

講習講話會、品評會審査、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

### 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

### 五 參觀人

本年度の參觀人總數は九〇八名なり。

## 第四 其の他



## 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手三七回一二三日なり。

## 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の發送件數は、發送二〇〇件、接受三三三一件なり。

## 三 用地の整理

用地の開墾竝に土地改良の爲明渠及暗渠の掘鑿、酸性矯正等を行ひたり。

# 美深試作場

## 第一 模範作

本事業は、當地方農作物中主要なるものを選定し、一農場の縮圖的組織の下に一定輪作式を定め合理的なる栽培を行ひ、地方農家に耕種肥培法の範を示すと共に、其の收支と生産量の變遷とを調査し、農業經營の參考資料たらんことを期せり。而して本年は五月中旬より六月上旬に亘り低温寡照なりしと、六月中、下旬著しく寡雨多照にして乾燥に失し、又七月に入り多雨なりし爲、夏收作物にありては生育を阻害せられ減收を示せるも、秋收作物にありては甜菜の生育稍不良なりし爲減收せる他、孰れも作況良好にして増收を示し、品質亦良好なるを得、之を地方農家に比すれば遙に優り、合理的なる輪作式竝に耕種肥培法の效果顯著なるを示し、地方農家を裨益するところ尠からざりき。

## 第二 試験及調査

### 一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の種類左の如し

試験及調査の種類	種類	数	區	数	面積	積
豊凶考照試験		一五		一八		七二〇 <small>平方米</small>
品種改良に關する試験及調査		七		一八七		二、七五八
耕種に關する試験及調査		八		一五九		一、八八一
其の他の試験及調査		一六		三〇		七八二
委託試験		一		一九		五〇二
計		四七		四一三		六、四四三

當地方に於ける本年の氣候は、五月中旬より六月上旬に互り低溫寡照に經過し、六月中、下旬著しく寡雨多照にして乾燥に失したりしが、七月以降は概して適順なりき。氣候前記の如かりしを以て夏收作物は生育を阻害せられ減收を示せしも、秋收作物は其の影響比較的少なく、生育、登熟共に順調にして、甜菜を除き各作物共増收を示せり。而して病害蟲は大豆に大豆莢蠹蟲、馬鈴薯に凋萎病及濕腐病の發生し被害稍多かりし他特記すべきものなかりき。

- 本年度施行せる種類左の如し
- 一 豊凶考照試験（水稻、大麥、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種）
  - 二 耐冷性水稻品種選抜試験
  - 三 溫床栽培用水稻品種選抜試験
  - 四 馬鈴薯品種選抜試験
  - 五 馬鈴薯系統生産力檢定豫備試験
  - 六 水稻品種耐冷性檢定試験
  - 七 産地別による水稻品種特性比較調査

- 八 水稻品種特性調査
  - 九 水稻直播期節試驗
  - 一〇 水稻直播栽培距離試驗
  - 一一 水稻直播播種量試驗
  - 一二 水稻苗仕立法に關する試験
  - 一三 水稻溫床苗代播種期對移植期試驗
  - 一四 水稻溫床苗栽植距離對本數試驗
  - 一五 水稻溫床苗處理法に關する調査
  - 一六 水稻溫床苗移植の深淺に關する調査
  - 一七 氣候と稻作との關係調査
  - 一八 水稻溫床苗代に於ける二番苗に關する調査
  - 一九 陸稻適否試験
  - 二〇 菊芋收量試験
  - 二一 多收穫に關する調査（春播小麥、燕麥、小豆、菜豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、綠肥作物）
  - 二二 簡易防風に關する調査（春播ライ麥、燕麥、飼料用玉蜀黍、菊芋、向日葵）
  - 二三 溫床用障子紙の良否に關する調査
  - 二四 委託試験
  - イ 水稻品種試驗（美深町）
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 馬鈴薯品種選抜試験
  - 三七 品種を供用し品種選抜試験を行ひたるに、新品種「紅丸」は薯收量、澱粉收得量共に優るを以て稍晩生の澱粉用品種

とし、「北海白」は薯收量多く且耐病性強きを以て中生食用品種とし、「明星」は薯收量、澱粉收得量共に優り且耐病性強きを以て晩生の食用兼澱粉用品種として、夫れ夫れ優良なるを認めたり。

二 水稻温床苗代播種期對移植期試驗

温床苗代に於ける播種及移植期の適期と併せて適當なる苗代日數を知らんが爲「走坊主二號」及「坊主五號」を供用して行ひたるに、「走坊主二號」の如き早熟種にありては播種期は四月二十日頃より同月二十五日頃迄、苗代期間は早播の場合は三五日、然らざる場合は三〇日内外を適當とし、「坊主五號」の如き中熟種にありては四月二十五日頃播種せるものを苗代期間三〇日乃至三五日となし、五月下旬に移植するを最も可とするを認めたり。

三 水稻温床苗代に於ける二番苗に關する調査

温床跡地を利用して稻苗を育成する場合、苗の生育並に之が利用價値の如何を知らんが爲行ひたるに、温床苗代に於て稻苗を育成後、其の跡地に直に二番苗を仕立て之を本田に栽培せるものは、其の播種及管理宜しきを得ば、直播栽培のものに比し收量稍劣るも出穂成熟大差なく、温床苗代田及直播田に於ける缺株の補植用として充分利用し得るを認めたり。

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類數	區數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一		一六	四〇〇 <small>平方米</small>

本年度施行せる種類左の如し

一 品種調査

三 飼料作物に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類數	區數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		五		三三	六四五 <small>平方米</small>
其の他の試験及調査		一二		二三	五八〇
計		一七		五六	一一二五

本年度施行せる種類左の如し

一 品種選抜試験(飼料用玉蜀黍、飼料用ビート、飼料用燕麥、飼料用胡蘿蔔、瑞典燕麥)

二 青刈作物適否試験

三 水田還元畑に於ける飼料作物適否試験(青刈燕麥、飼料用玉蜀黍、稗、飼料用大豆、コンモンベツチ、サンドベツチ、飼料用ビート、飼料用燕麥、飼料用胡蘿蔔、瑞典燕麥、禾本科牧草、荳科牧草)

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 水田還元畑に於ける飼料作物適否試験  
水田還元畑に於ける各種飼料作物の適否を知らんが爲行ひたるに、水田還元畑(重粘土)に於ては、禾本科牧草は孰れも生育不良にして收量劣るも、荳科牧草は生育良好にして、就中赤クローバーはアルサイクローバーに比し一年目に於ける收量劣るも、二年目に生育旺盛となり増收するを以て飼料作物として好適す。其の他飼料用玉蜀黍、稗、青刈大豆等も生育良好にして收量多く、又根菜類中飼料用ビート、飼料用胡蘿蔔、飼料用燕麥(青刈燕麥刈取後播種)等も收量多く、孰れも飼料作物として適するを認めたり。

#### 四 土地改良に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
土地改良に関する試験及調査		二		八		二四〇 <small>平方米</small>
委託試験		一		六		六〇〇
計		三		一四		八四〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水田還元畑管理に関する調査（燕麥、馬鈴薯）
- 二 委託試験

イ 心土改良試験（美深町）

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

- 一 水田還元畑管理に関する調査

水田を畑地に還元する場合に於ける管理方法を知らんが爲、燕麥及馬鈴薯に就き行ひたるに、當地方の如き埴土系の重粘なる土壤にありては、土壤酸性矯正せるものは矯正せざるものに比し、又堆肥施用せるものは施用せざるものに比し、土壤の組織著しく膨軟となり、土塊の破碎容易にして、耕鋤、整地等の諸作業も勞力を要すること少なきを認めたり。而して作物の生育は、兩作物共に土壤酸性矯正せるものは矯正せざるものに比し良好にして收量著しく増加し、又堆肥を併用せる場合は堆肥の用量増加するに隨ひ一畝增收するを示せり。

#### 五 土壤肥料に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面	積
三要素に関する試験及調査		一		九		八八 <small>平方米</small>
三要素適量に関する試験及調査		三		三		五五二
肥効に関する試験及調査		一		四		九三〇
其の他の試験及調査		一〇		一五		一三五
計		一〇		一五		一、七〇五

本年度施行せる種類左の如し

- 一 水稻の肥料三要素需要量に関する調査
- 二 水稻及燕麥對窒素用量試験
- 三 温床苗代に於ける水稻對窒素適量査定試験
- 四 燕麥對磷酸用量試験
- 五 燕麥對加里用量試験
- 六 燕麥對トーマス燐肥肥效比較試験
- 七 燕麥對ステツクストツフカルタフオスファート肥效比較試験
- 八 綠肥用黄花ルービン間作試験
- 九 菜豆對堆肥用量試験

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 燕麦對トーマス燐肥比較試驗  
燕麦に對しては、トーマス燐肥の肥効は過燐酸石灰に及ばざるも、燐酸アルミナより優るを認めたり。

### 六 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲防除に關する試験及調査			一	二		三〇〇
其の他の試験及調査			二	一		三〇〇
計			三	二		三〇〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 大廿八星瓢蟲防除劑に關する調査
  - 二 地方重要農作物病害蟲に關する調査
  - 三 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査 (蔬菜及花卉)
- 右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し
- 一 大廿八星瓢蟲防除劑に關する調査  
馬鈴薯害蟲大廿八星瓢蟲に對する防除劑として、砒酸鉛、砒酸石灰及亞砒酸曹達(札幌合劑として使用)の三種消化中毒劑を用ひ、其の殺蟲效果並に收量、收益の關係を「ペポー」及「アメリカ大白」の兩品種に就き調査せるに、殺蟲效果は品種により多少趣を異にするも、砒酸石灰加用ポルドウ合劑を以て實用上有效なるを認めたり。

### 第三 普及事業

#### 一 見本作

試験及調査に屬せざる特用作物、蔬菜、花卉等を栽培し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

#### 二 種苗配付

本年度配付せる種類及數量左の如し

種類名	配付數	種類	配付數
水陸稻	一七〇・五	稗	二〇〇
大陸麥	五〇〇	蕎麥	三五〇
裸麥	三〇〇	大豆	二〇〇
春秋播小麥	三〇〇	大豆	四四〇
春秋播小麥	三〇〇	大豆	五〇〇
秋播小麥	一〇〇	豆	二九〇
燕麥	六〇〇	薯	八四二
裸麥	三〇〇	種	一〇〇

### 三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、品評會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

### 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

### 五 參觀人

本年度の參觀人總數は一、三三八名なり。

### 第四 其の他

#### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技手三〇回七六日、其の他一回三日なり。

### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送一七六件、接受二三四件なり。

### 三 用地の整理、其の他

水田用地の地均を行ひたる他、試験用地に對し暗渠排水の設置、明渠排水の浚渫及客土を施行し、尙廳舎の増築を行ひたり。

# 天鹽試作場

## 第一 模範經營

本經營は、天鹽地方に於ける畑作混同農業經營上の模範を示さんが爲一定の方案を樹立し、當場用地内に於て實際農家を以て經營地積七町五反歩にて、大家畜五頭（乳牛三頭、耕馬二頭）小家畜若干を飼育する經營を實施せしめたり。而して本年の氣候は六月中旬迄概して不順なりしも、爾後恢復せるを以て麥類、玉蜀黍、蕎麥、大豆、小豆、馬鈴薯、飼料用玉蜀黍等は收量、品質共に優り、豌豆、亞麻、甜菜等は豫期の收穫を擧げ得ざりしも、之を地方農家に比すれば作況一般に優り、畜産にありては乳牛は牝犢三頭分挽し、内一頭斃死せるも二頭を育成し、耕馬は牝駒を生産し、老齡馬、豚、鶏卵、廢鶏等の賣却收入亦相當額に達し、地方一般農家に比し遙に有利なる經營の實績を擧げ得たり。

## 第二 試験及調査

### 一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

品名	試験地	調査地	備考
大豆	天鹽	天鹽	
小豆	天鹽	天鹽	
馬鈴薯	天鹽	天鹽	
飼料用玉蜀黍	天鹽	天鹽	
蕎麥	天鹽	天鹽	
麥類	天鹽	天鹽	
豌豆	天鹽	天鹽	
亞麻	天鹽	天鹽	
甜菜	天鹽	天鹽	

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
豊凶考照試験		一四		一八		七九〇
品種改良に關する試験及調査		一〇		一二四		二、五八五
耕種に關する試験及調査		一〇		六四		一、二八五
其の他の試験及調査		三三		七四		三、二五五
計		六五		二八〇		七、九一五

當地方に於ける本年の氣候は、融雪後の氣温概して低冷にして、夜間氣温の下降甚しく、六月中旬始結霜を見たり。爾後多照寡雨の天候持續し、六月下旬より氣温漸く上昇せり。七月中は多濕の天候多かりしも其の後は概して適順に經過せり。氣候前記の如かりしを以て夏收作物中豌豆及亞麻は生育を阻碍せられて減收を示し、麥類及菜種は成熟期並に收穫期の天候適順なりし爲收量、品質共に優り、秋收作物にありては甜菜の作況稍劣りし他は孰れも増收を示せり。

本年度施行せる種類左の如し

- 一 豊凶考照試験（水稻、裸麥、秋播小麥、春播小麥、燕麥、玉蜀黍、大豆、小豆、菜豆、豌豆、馬鈴薯、甜菜、亞麻、秋播菜種）
- 二 品種選抜試験（水稻、秋播小麥、春播小麥、黍、蕎麥、大豆、馬鈴薯、秋播菜種）
- 三 水田稗移植時期に關する調査
- 四 水田稗移植株數對本數に關する調査
- 五 播種期節試驗（裸燕麥、玉蜀黍、稗、菜豆）
- 六 採種用黃花ルーピン播種期節試驗
- 七 播種量試驗（燕麥、裸燕麥）
- 八 小豆收穫期試驗

九 水稻苗仕立法に關する調査

一〇 適否試験（荏、ミブヨモギ、莞草、蔬菜、果樹）

一一 菊芋收量調査

一二 菊芋、馬鈴薯比較調査

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 小豆收穫期試驗

小豆の適當なる收穫期を知らんが爲行ひたるに、莢の七割内外成熟せるときに收穫するを適當とするを認めたり。

二 採種用黃花ルーピン播種期節試驗

天鹽地方低位泥炭地及酸性土壤地に於て採種用黃花ルーピンの播種期と採種量との關係を知らんが爲行ひたるに、五月下旬に播種せるもの收量最も多きも、品質は五月上、中旬に播種せるもの優るを示せり。而して六月に入り播種せるものは稔實不良にして、殊に六月中旬以後は成熟せざるを認めたり。

二 甜菜に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に關する試験及調査		一		九		二四五

本年度施行せる種類左の如し

一 品種調査



### 三 飼料作物に関する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
品種改良に関する試験及調査		五		九八		二、一七〇 <small>平方米</small>
耕種に関する試験及調査		九		二八		五八〇
肥料に関する試験及調査		四		八八		二、七〇〇
其他の試験及調査		八		三〇		七一〇
計		二六		二四四		六、一六〇

本年度施行せる種類左の如し

- 一 品種選抜試験(飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔、牧草)
- 二 飼料作物適否試験(飼料用ビート、瑞典蕪菁、飼料用蕪菁、飼料用胡蘿蔔、ケール、飼料用甘藍、龍舌菜、青刈作物)
- 三 牧草播種期節試験(チモシー、赤クローバー)
- 四 牧草播種量試験(チモシー、赤クローバー)
- 五 チモシー、赤クローバー混播量試験
- 六 玉蜀黍培土に関する調査(子實用玉蜀黍、飼料用玉蜀黍)
- 七 牧草收穫期試験(チモシー、赤クローバー)
- 八 牧草三要素試験(チモシー、赤クローバー)

九 牧草地追肥試験(チモシー、赤クローバー)

### 四 土壤肥料に関する試験及調査

本年度に於て施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
三要素適量に関する試験及調査		五		一四五		三、二七一 <small>平方米</small>
肥効に関する試験及調査		二		五六		一、四〇〇
其他の試験及調査		四		七四		二、七一〇
計		一一		二七五		七、三八一

本年度施行せる種類左の如し

- 一 馬鈴薯對三要素試験
- 二 燕麥對窒素用量試験
- 三 磷酸用量試験(燕麥、馬鈴薯)
- 四 菜豆對三要素適量查定試験
- 五 燕麥對トーマス磷肥肥效比較試験
- 六 綠肥用黄花ルーピン間作試験(燕麥)
- 七 堆肥用量試験(菜豆、馬鈴薯)
- 八 馬鈴薯對客土及石灰施用と地力との關係試験

九 燕麥對石灰用量試驗

右の内本年度完了し農事指導資料として發表せるもの左の如し

一 燕麥對磷酸用量試驗

燕麥に對する磷酸用量は陌當七五疋を適量とし、之より磷酸を増量するも收量及収益は増加せざるを以て、之を限度とすべきを認めたり。

二 燕麥對トーマス燐肥肥效比較試驗

燕麥に對しては、低位泥炭土に於てはトーマス燐肥の肥效最も優り、磷酸アルミナ、過磷酸石灰之に亞ぐを認めたり。

五 病害蟲に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の概要左の如し

試験及調査の種類	種類	種類数	區	數	面積	積
病害蟲に關する試験及調査	二					

本年度施行せる種類左の如し

- 一 地方重要農作物病害蟲に關する調査
- 二 病害蟲の分布及發生狀況に關する調査 (蔬菜及花卉)

第三 普及事業

一 見本作

試験及調査に屬せざる蔬菜、果樹、花卉並に樹木類を用地内に栽植し、事業上の参考に資すると共に參觀者に供覽せり。

二 種苗配付

本年度配付せる種苗の種類及數量左の如し

作物名	配付數量	作物名	配付數量
水稻	一〇〇疋	粟	一〇〇疋
裸麥	五・三	黍	〇・六
秋播	〇・九	稗	〇・六
春播	一・三	大豆	八・五
春播	〇・二	小豆	八・五
燕麥	四七・八	菜	三三・五
裸麥	四・一	馬鈴薯	一九六・〇
玉蜀黍	六二・一		

三 農事指導

講習講話會、協議會、研究會、共勵會、實地指導、其の他の爲、場員をして夫れ夫れ指導せしめたり。

104

#### 四 質疑應答

農業上各般の事項に互り書面又は口頭を以て質疑せるものに對し、夫れ夫れ懇切に應答せり。

#### 五 土壤酸度の檢定

酸性土壤地の土地改良に資せんが爲、當場員の採取せる土壤竝に管内町村農會又は當業者の依頼せる土壤に就き、酸度の檢定を行ひたり。

#### 六 參觀人

本年度に於ける參觀人總數は四五九名なり。

#### 第四 其の他

#### 一 出張

本年度に於て指導及調査、其の他の爲場員の出張せるは、農林技師三九回一〇三日、農林技手七回二八日なり。

#### 二 文書の發送及接受

本年度に於て取扱ひたる公文書の件數は、發送二一九件、接受三三九件なり。

#### 三 用地の整理

用地の土地改良竝に整理を行ひたり。

# 瀬棚試作場

## 第一 模範經營

本經營は、當場竝に本、支場に於ける既往の各種試験及調査の成績を綜合し、瀬棚地方低位泥炭地に於ける理想的水田混同農業の經營を行はんとするにありて、主として水田より得る植産収入を主體とし、畑地に於ては一部自家食糧及家畜飼料を生産し、且畜産収入及薬工品等の副業収入を擧げ、可及的自給自足の方針の下に水田三町一反八畝、畑一町五畝、蔬菜畑四畝、其他七反三畝、計五町歩を經營せしめたり。而して本年は氣候順調なりしを以て極めて良好なる成績を收め得、地方當業者を裨益せるところ尠からざりき。

## 第二 試験及調査

### 一 種藝に關する試験及調査

本年度施行せる試験及調査の主要左の如し